令 和 4 年 度

事 業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人

西 予 総 合 福 祉 会

令和４年度　事業報告

社会福祉法人　西予総合福祉会

今年度も感染力の強い変異株により、新型コロナ感染症が収束せず様々な事業で影響を受けた一年となった。特に入所施設である特別養護老人ホームや障がい者支援施設では多くの利用者・職員が感染するクラスターが発生した。それぞれ徹底した感染防止策を講じるも終息に２～３週間を要した。他にも複数の事業所で利用者や職員の感染が確認され、保育園では、クラス単位の休園も余儀なくされた。

法人としては、数年にわたる行動制限を強いられている職員に対し、夏のボーナス時に、前年度同様一時金を支給し、感謝の意を伝えると共に、従事する職員の心的ストレスが軽減できるように各職場でメンタルヘルスに留意した。

さて現在は、急激な人口減少と超少子高齢化、コロナ禍も相まって私たちを取り巻く環境は一層厳しさを増している。福祉業界でも担い手不足が叫ばれて久しく、法人も例外なく厳しい状況である。今年度その対応として、愛媛県介護基盤整備事業補助金を活用し、ひまわりの家隣接地に職員住宅「ソレイユ」を３月に竣工した。同月中旬には早速６名が入居、次年度も入居予定の職員があり、この建物が職員の福利厚生を担うことを見込んでいる。

また制度面の見直しにも着手し、６０歳であった正職員の定年を一年毎、段階的に延長し、６５歳定年とする事とした。これにより、法人は高い知識・技術を持った優秀な人財を引き続き雇用出来、経験ある職員が法人を支える仕組みを作ることが出来た。併せて学生へ奨学金を貸与し、一定期間法人施設で勤務すると返済が免除になる就学支援制度や法人保育園で勤務しながら、保育士資格取得を目指す保育士サポーター制度もそれぞれに応募者があり、将来への人財確保につなげる契機となった。

しかし、今年度の正職員離職率は前年度の５．３％を上回る６．２％となった。福祉業界の離職率全国平均は下回るものの人財を確保できても定着が進まなければ組織は成長しない。人財確保につながる職員の定着を喫緊の課題として、一人一人の職員を大切にする法人を目指したい。

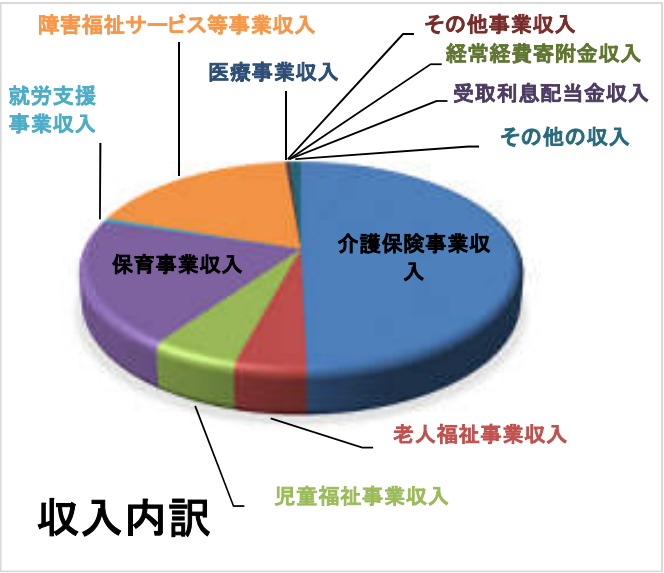
今年度の事業運営は、宇和町多田地区に立地する認知症高齢者グループホーム「蘭」が人手不足等により、事業譲受の打診があり地域の福祉を支える法人の使命として、事業を受け継ぐ事を決断した。その引継にあたっては開設者の想いにも共感し、既に年度中から一部職員を同施設に派遣し、同事業を繋いだ。今後は更に質の高い介護を提供し、地域で愛される施設を目指したい。他には通所型サービスＡ「陽より」のサービス提供場所をななほし中川内に移転、固定した。一方で、松葉寮内の認知症対応型通所介護「かえで」は利用者数の伸び悩みにより、事業を見直し前年度末でその役割を終えた。

最後に事業活動収支差額であるが、前年度比８０％の３億２３００万円となり、法人が定めた目標値には遠く及ばなかった。「蘭」の土地・建物等の購入金額を含む支出があるも新型コロナの感染により、一部事業所の休止等があり、各事業所での稼働率の低下が収入減少の要因である。今後は経営内容を分析し、利用者満足度を高めるためにもより専門職の適切な職場配置に努め、対価としての加算取得を図るなどの適正な経営に努めていきたい。

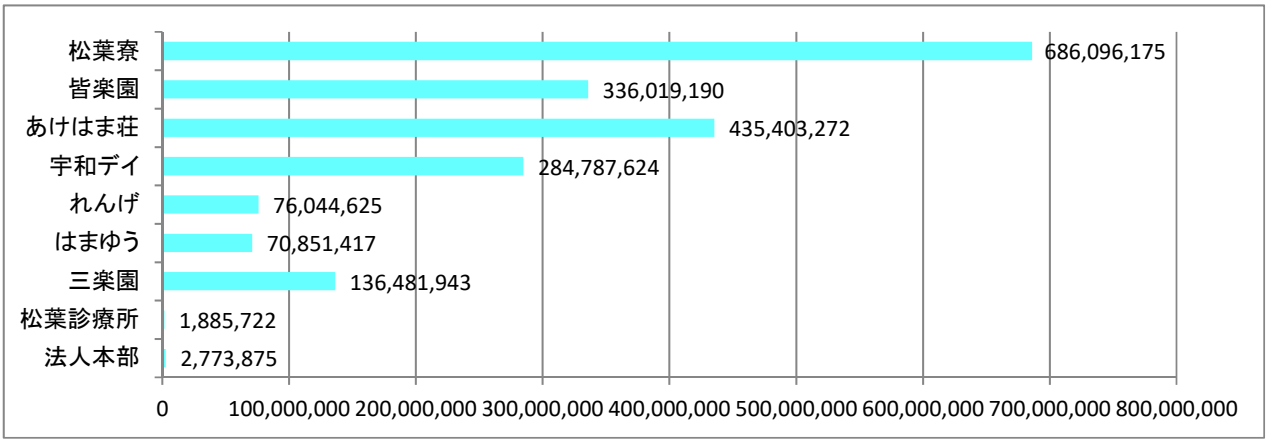
Ⅰ. 事業活動による収入・支出額

1. 事業活動による収入内訳　　単位：円

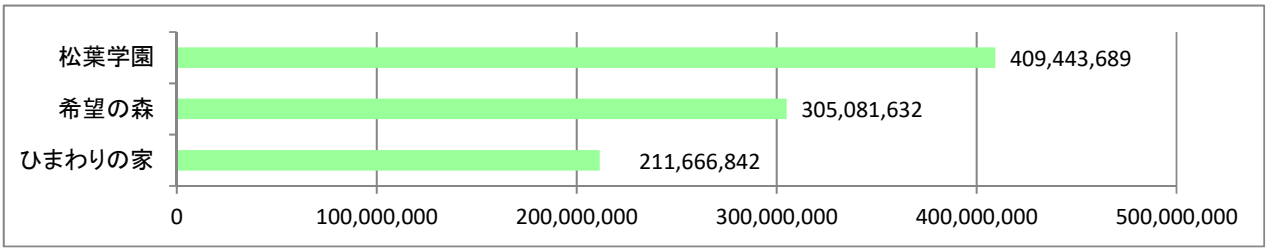
勘定科目	金額	率
介護保険事業収入	1,834,868,297	49.63%
老人福祉事業収入	170,129,618	4.60%
児童福祉事業収入	208,292,775	5.63%
保育事業収入	729,114,632	19.72%
就労支援事業収入	21,033,180	0.57%
障害福祉サービス等事業収入	684,140,727	18.51%
医療事業収入	4,934,739	0.13%
その他事業収入	7,186,729	0.19%
経常経費寄附金収入	1,523,960	0.04%
受取利息配当金収入	205,618	0.01%
その他の収入	35,543,973	0.96%
事業活動収入計	3,696,974,248	100.00%



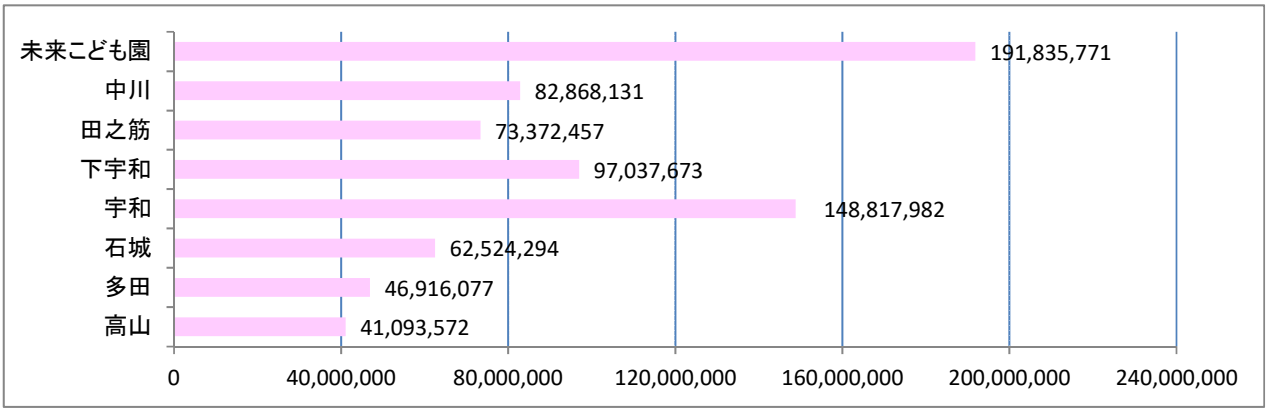
① 老人事業部・公益事業・法人本部の事業活動収入内訳（内部取引前）



② 養護・障がい事業部の事業活動収入内訳（内部取引前）

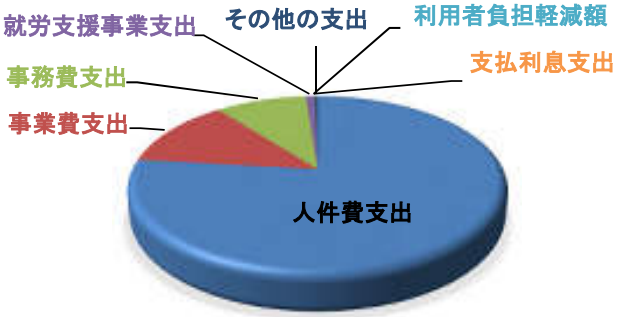


③ 児童事業部の事業活動収入内訳（内部取引前）



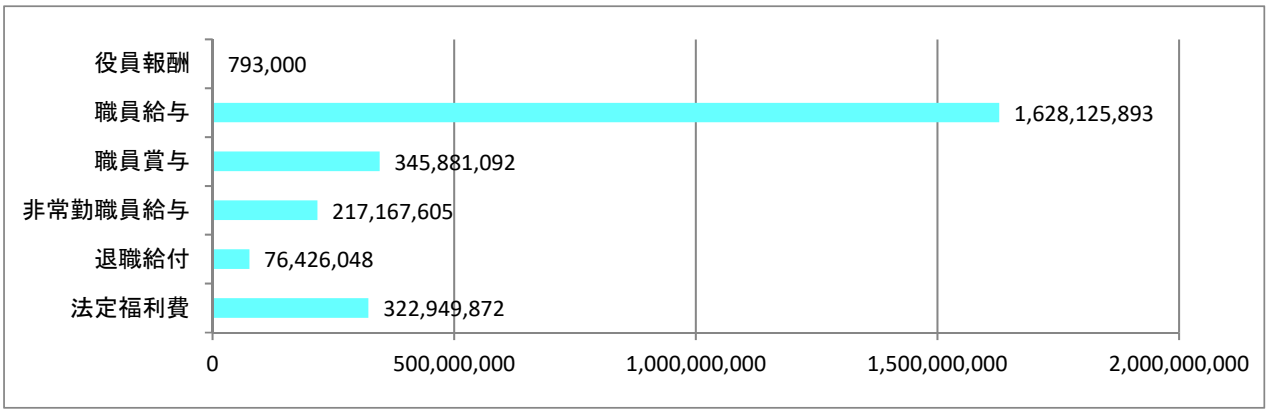
2. 事業活動による支出内訳　　単位:円

勘定科目	金額	率
人件費支出	2,591,343,510	76.82%
事業費支出	426,015,431	12.63%
事務費支出	315,007,327	9.34%
就労支援事業支出	27,394,667	0.81%
利用者負担軽減額	500,145	0.01%
支払利息支出	1,235,758	0.04%
その他の支出	11,930,820	0.35%
事業活動支出計	3,373,427,658	100.00%

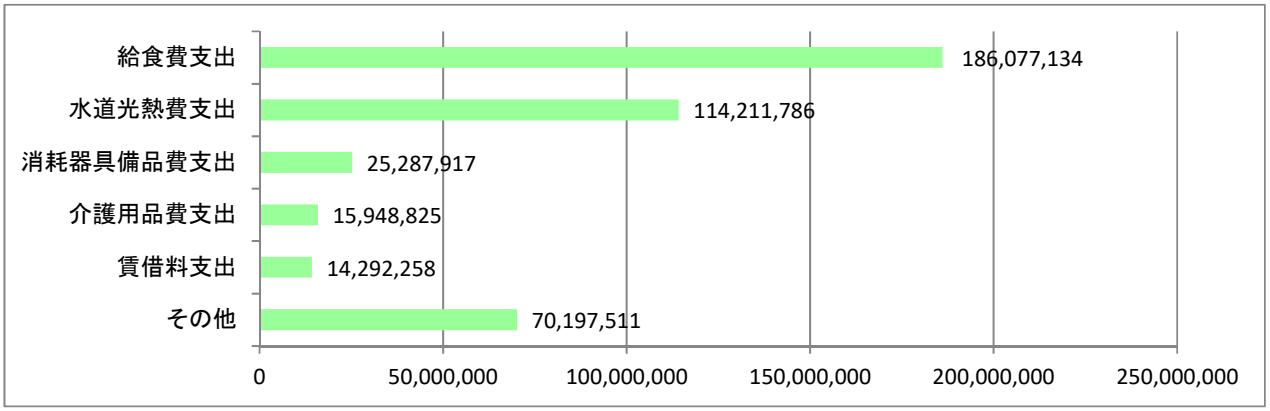


支出内訳

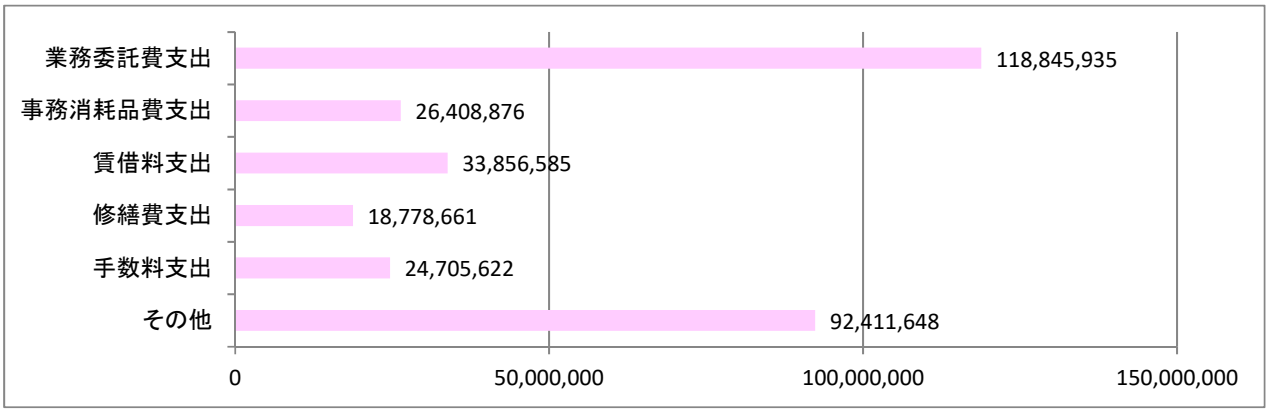
① 人件費支出の内訳



② 事業費支出の内訳

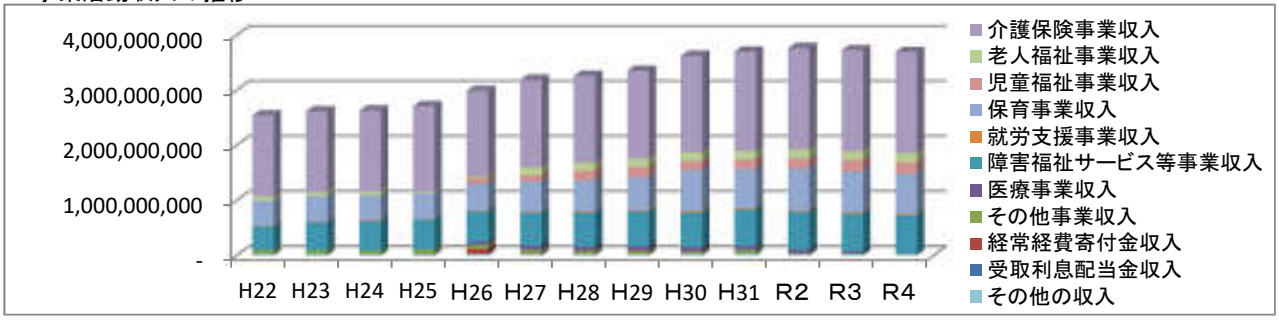


③ 事務費支出の内訳



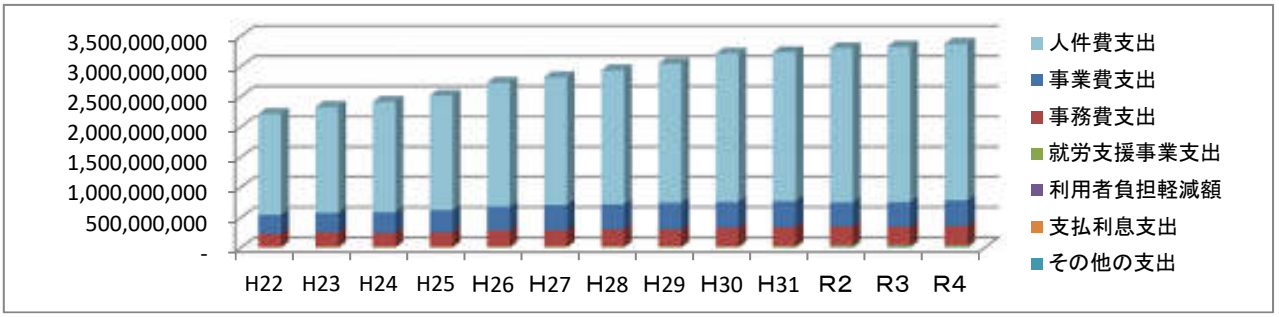
Ⅱ. 事業活動収支の推移（平成25年度より新会計基準適用　平成24年度以前は新基準に科目を振替て表示）

1. 事業活動収入の推移



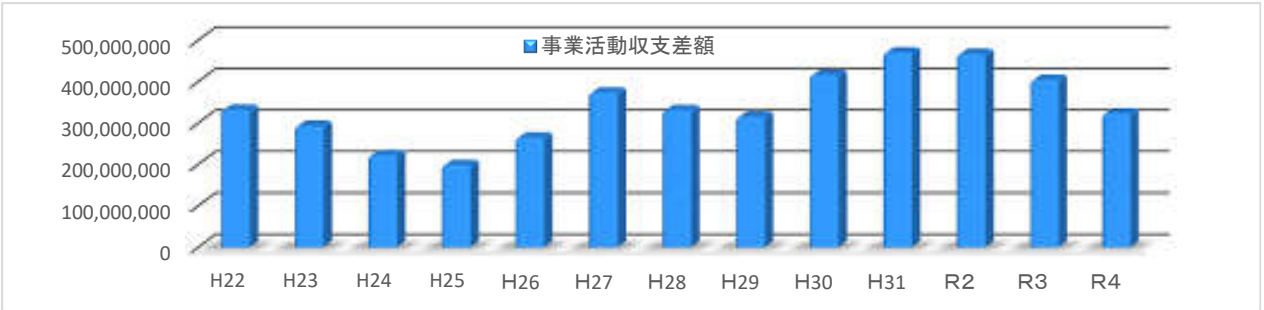
勘定科目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護保険収入	1,753,665,426	1,802,877,203	1,839,091,175	1,832,669,676	1,834,868,297
老人福祉事業収入	156,879,347	156,861,910	165,649,263	161,490,905	170,129,618
児童福祉事業収入	166,280,544	181,362,403	181,939,095	206,965,353	208,292,775
保育事業収入	741,770,584	702,216,978	763,611,806	738,006,582	729,114,632
就労支援事業収入	22,000,235	21,833,568	23,005,365	22,952,605	21,033,180
障害福祉サービス等事業収入	630,979,738	668,816,649	692,367,249	683,478,930	684,140,727
医療事業収入	76,981,151	67,825,214	57,487,367	40,655,396	4,934,739
その他事業収入	43,910,872	65,340,192	12,847,862	12,999,929	7,186,729
経常経費寄付金収入	2,975,000	1,366,887	2,885,900	2,163,000	1,523,960
受取利息配当金収入	109,074	265,805	270,502	207,063	205,618
その他の収入	32,490,648	35,941,027	30,139,260	28,654,174	35,543,973
事業活動収入計	3,628,042,619	3,704,707,836	3,769,294,844	3,730,243,613	3,696,974,248

2. 事業活動支出の推移



勘定科目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費支出	2,455,076,324	2,464,694,736	2,557,462,502	2,573,415,556	2,591,343,510
事業費支出	425,274,572	434,010,148	393,362,202	407,015,878	426,015,431
事務費支出	304,267,569	307,343,363	308,319,039	303,139,837	315,007,327
就労支援事業支出	24,279,278	25,549,398	27,569,812	27,808,790	27,394,667
利用者負担軽減額	1,265,953	1,372,325	1,381,449	1,001,456	500,145
支払利息支出	－	－	1,401,609	1,312,572	1,235,758
その他の支出	1,707,666	1,475,104	12,949,385	12,597,255	11,930,820
事業活動支出計	3,211,871,362	3,234,445,074	3,302,445,998	3,326,291,344	3,373,427,658

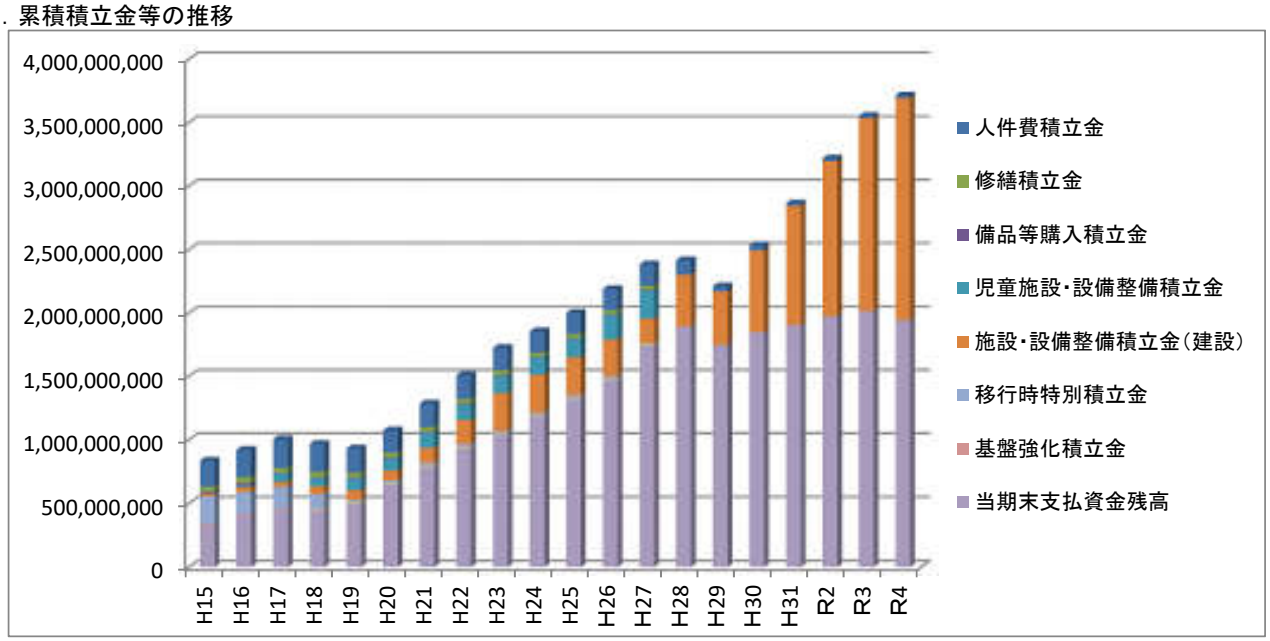
3. 事業活動収支差額の推移



勘定科目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業活動収支差額	416,171,257	470,262,762	466,848,846	403,952,269	323,546,590

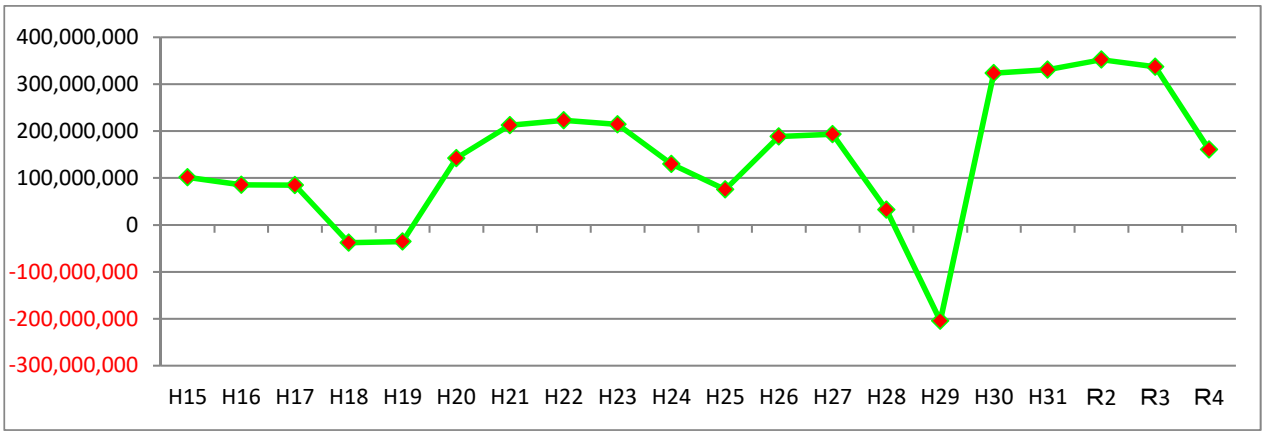
Ⅲ. 積立金等の推移（※平成28年度より児童施設・設備整備積立金と建設積立金を統合し施設・設備整備積立金とする）

1. 累積積立金等の推移



勘定科目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費積立金	40,790,000	20,790,000	20,790,000	20,790,000	20,790,000
修繕積立金	0	0	0	0	
備品等購入積立金	0	0	0	0	
児童施設・設備整備積立金	0	0	0	0	
施設・設備整備積立金（建設積立金）	645,520,219	939,520,219	1,222,220,219	1,518,220,219	1,749,865,219
移行時特別積立金	0	0	0	0	
基盤強化積立金	0	0	0	0	
福祉の里推進活動積立金	0	0	0	0	
当期末支払資金残高	1,848,088,254	1,904,791,874	1,974,454,925	2,015,664,584	1,944,667,427
合計	2,534,398,473	2,865,102,093	3,217,465,144	3,554,674,803	3,715,322,646

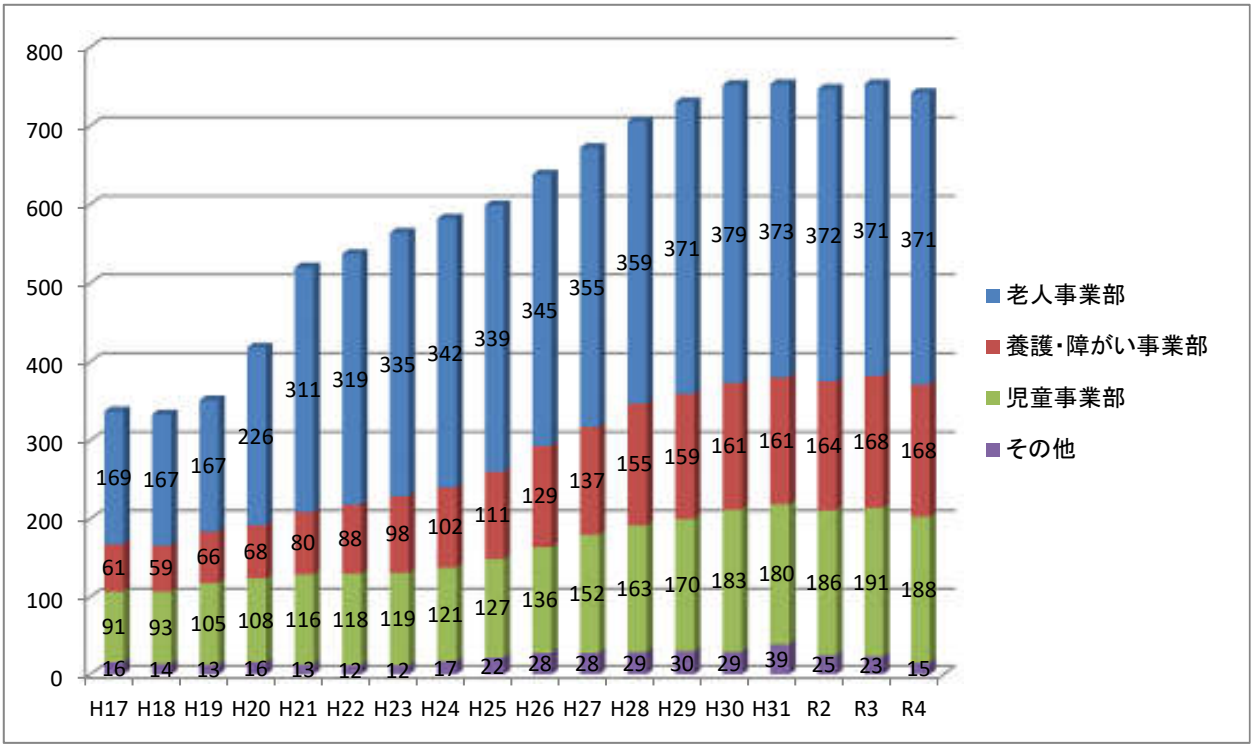
2. 当期資金差額の推移



勘定科目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
当期資金差額	323,372,235	330,703,620	352,363,051	337,209,659	160,647,843

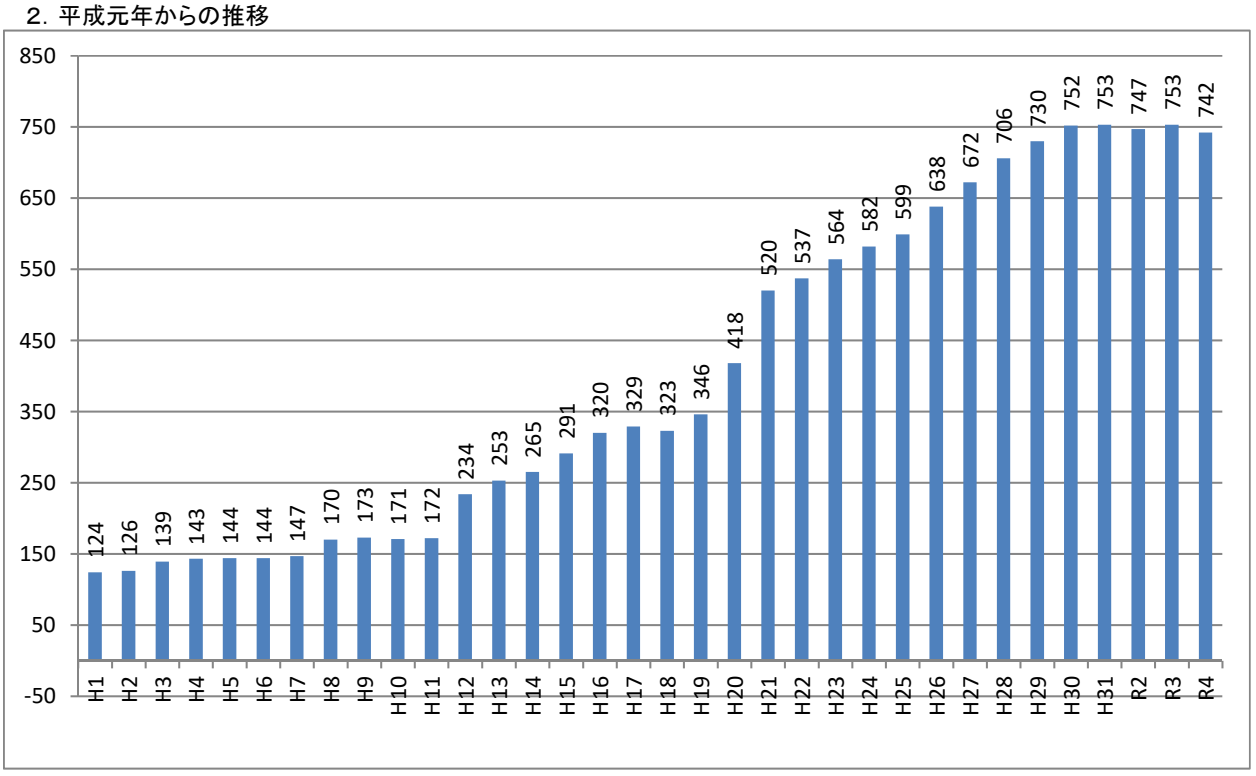
Ⅳ. 職員数の推移

1. 事業部別の推移



	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
老人事業部	371	379	373	372	371	371
養護・障がい事業部	159	161	161	164	168	168
児童事業部	170	183	180	186	191	188
その他	30	29	39	25	23	15
合計	730	752	753	747	753	742

2. 平成元年からの推移



次に項目別に報告

１．会議の開催

（１）評議員会

第１回（令和４年６月２７日）

議案第　　１号　　令和３年度社会福祉事業収支決算の承認について
議案第　　２号　　令和３年度公益事業収支決算の承認について

報告第　　１号　　令和３年度事業報告について

第２回（令和５年１月１０日）書面

議案第　　３号　　松葉診療所の土地収用について

（２）理事会

第１回（令和４年５月２７日）

議案第　　１号　　令和３年度社会福祉事業第４次収支補正予算（案）について
議案第　　２号　　令和３年度事業報告の承認について
議案第　　３号　　令和３年度社会福祉事業収支決算の承認について
議案第　　４号　　令和３年度公益事業収支決算の承認について
議案第　　５号　　「老人事業部門」運営規程の改訂について
議案第　　６号　　「養護・障がい事業部門」運営規程の改訂について
議案第　　７号　　規則規程の改訂について
議案第　　８号　　令和３年度西予市指導監査の実施結果について
議案第　　９号　　令和４年度社会福祉事業第１次収支補正予算（案）について
議案第　１０号　　西予総合福祉会「職員住宅」新築工事計画の承認について
議案第　１１号　　旧二木生小学校「解体工事設計監理委託業務」契約の承認について
議案第　１２号　　評議員選任・解任委員会の招集について
議案第　１３号　　定時評議員会の開催及び議案について

報告第　　１号　　運営協議会委員の選任について
報告第　　２号　　職務の執行状況について

第２回（令和４年８月３０日）書面

議案第　１４号　「西予総合福祉会職員住宅新築工事」請負契約について

第３回（令和４年９月２９日）

議案第　１５号　　規則規程の改訂について
議案第　１６号　　令和４年度社会福祉事業第２次収支補正予算(案)について

報告第　　３号　　職務の執行状況について

第４回（令和４年１１月９日）
　議案第　１７号　　グループホーム蘭の事業譲受について

第５回（令和４年１２月２３日）
　議案第　１８号　　養護老人ホーム三楽園「旧二木生小学校解体工事委託業務」の入札実施について
　議案第　１９号　　令和４年度社会福祉事業第３次収支補正予算(案)について
　議案第　２０号　　令和４年度公益事業第１次収支補正予算(案)について
　議案第　２１号　　規則規程の改訂について
　議案第　２２号　　松葉診療所の土地収用について
　議案第　２３号　　評議員会の開催及び議案について

　報告第　　４号　　職務の執行状況について

第６回（令和５年３月１７日）
　議案第　２４　号　　養護老人ホーム三楽園「旧二木生小学校解体工事」請負契約の承認について
　議案第　２５号　　松葉診療所の事業廃止の同意について
　議案第　２６号　　「老人事業部門」運営規程の改訂について
　議案第　２７号　　「児童事業部門」運営規程の改訂について
　議案第　２８号　　「公益事業」運営規程の廃止について
　議案第　２９号　　規則規程の改訂について
　議案第　３０号　　令和４年度社会福祉事業第４次収支補正予算(案)について
　議案第　３１号　　令和４年度公益事業第２次収支補正予算(案)について
　議案第　３２号　　令和５年度事業計画(案)について
　議案第　３３号　　令和５年度社会福祉事業収支予算(案)について
　議案第　３４号　　令和４年度愛媛県指導監査の実施結果について
　議案第　３５号　　施設長の任免について

　報告第　　５号　　職員の懲戒について
　報告第　　６号　　職務の執行状況について

（３）監査会（令和４年５月１７日・１８日）
　令和３年度、西予総合福祉会の決算について監査、承認を得た。
（社会福祉事業及び公益事業）

（４）評議員選任・解任委員会
第１回（令和４年６月７日）
　議案第　　１号　　任期満了による評議員の選任について

（５）運営協議会（令和４年６月）

新型コロナウイルス感染防止の観点から書面で、
令和３年度　事業報告及び決算報告、各事業部事業概要報告をおこなった。

「法人決算概要」及び「施設別運営状況」は、別紙のとおり

２．令和４年度：数値目標達成結果

（１）定年退職者を除く正職員の離職率を５％以下とする。

目標	目標値	結果	R4	R3	R2
5%以下	5.0%以下	×	6.2%	5.3%	4.4%

（２）労災保険対象事故の発生件数を前年度対比３０％削減させる。

目標	目標値	結果	R4	R3	R2
前年比30％削減	11件以下	×	18件	15件	9件

（３）事業活動資金収支差額を前年度対比３％増加させる。

目標	目標値	結果	R4	R3	R2
前年比3％増加	416,058千円以上	×	323,547千円	403,940千円	466,848千円

（４）一人当たりの時間外労働を月平均５時間以下とする。

目標	目標値	結果	R4	R3	R2
月平均5ｈ以下	5ｈ以下	○	4.0h	3.9ｈ	3.7h

（５）法人が指定する資格の取得者を１５人以上とする。

目標	目標値	結果	R4	R3	R2
15人以上	15人以上	×	11人	7人	7人

（６）ストレスチェック組織分析結果の健康リスクを１００以下とする。

目標	目標値	結果	R4	R3	R2
100以下	100以下	○	100	104	102

（７）ホームページ閲覧数を前年度対比２０％増加させる。

目標	目標値	結果	R4	R3	R2
前年比20％増加	96,853以上	×	67,008	80,711	51,124

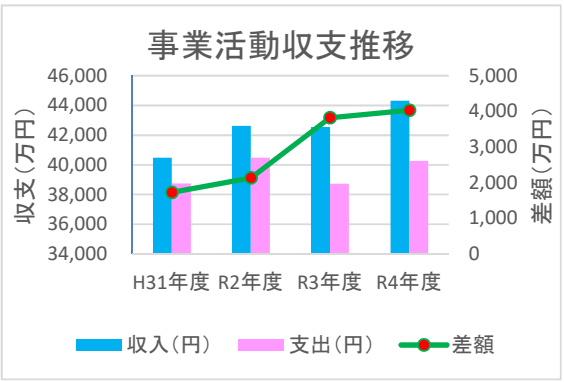
（８）障がい者雇用率について法定雇用率（２．3%）を維持する。

目標	目標値	結果	R4	R3	R2
法定雇用率達成	2.30%以上	○	3.21%	2.94%	3.36%

事業報告　：　松葉寮

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	404,928,860	426,246,478	425,590,703	443,179,379
支出（円）	387,636,242	404,874,467	387,349,595	402,877,615
差額	17,292,618	21,372,011	38,241,108	40,301,764

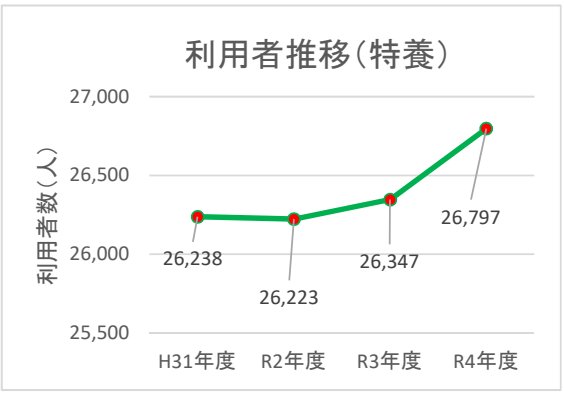


〇状況
・特養は、稼働率も上がり介護保険収入増、コロナ補助金等もあり収入は増えているが、電気料金の高騰、コロナによるかかり増し経費が増えており、収益は減となっている。
・短期は、コロナの影響による利用中止期間もあり減収となった。
・かえでは、コロナによる利用控えと新規利用者がなく収入減となった。

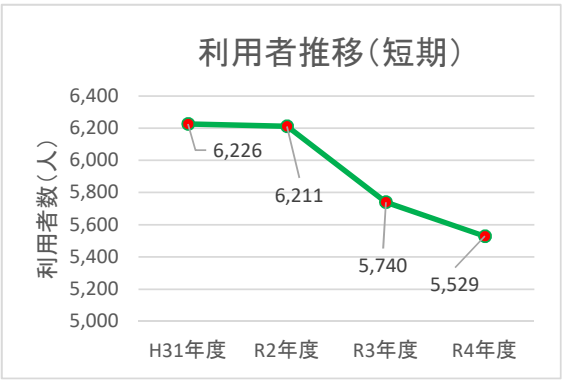
施設・設備整備積立金　：　8,000,000円

利用者推移

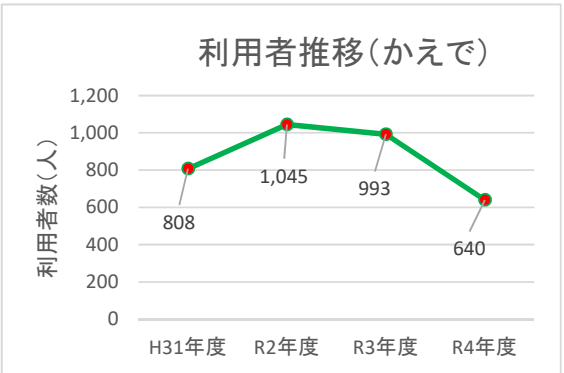
特　養	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	26,238	26,223	26,347	26,797
前年比（%）	100.7%	99.9%	100.5%	101.7%



短　期	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	6,226	6,211	5,740	5,529
前年比（%）	107.5%	99.8%	92.4%	96.3%



かえで	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	808	1,045	993	640
前年比（%）	66.2%	129.3%	95.0%	64.5%



〇状況
・6月より嘱託医が宇都宮内科クリニックに変更し、往診等により入院者数が減り、施設での看取りが増え稼働率増加となった。
・短期は、コロナの影響で利用を中止する期間があったことによる利用者減と考えられる。
・かえでは、新規利用者が無く、コロナによる利用控えもあり大幅に利用者数が減った。

施設整備

・職員宿舎家電一式
・ガス貯湯式湯沸器
・リフト付きシャワーキャリー
・リクライニング車椅子2台
・PAS交換

人材育成・研修

・コロナにより、現地での研修参加はできなかったが、オンラインよる研修に取り組むことができた。
・アテント（おむつ）マイスター

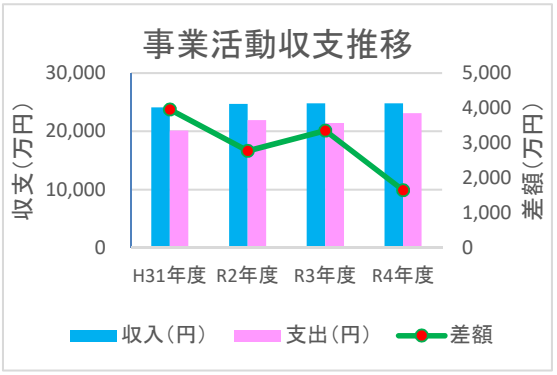
トピックス

・EPA介護福祉士、国家試験1名合格
・7月、12月、3月短期入所コロナ感染発生対応
・11月～12月特養、利用者30名、職員26名コロナ感染
・6月より技能実習生2名が実習開始

事業報告　：　開明の杜

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	240,646,032	246,590,466	247,630,410	247,608,087
支出（円）	201,104,553	218,836,150	214,120,880	231,147,748
差額	39,541,479	27,754,316	33,509,530	16,460,339



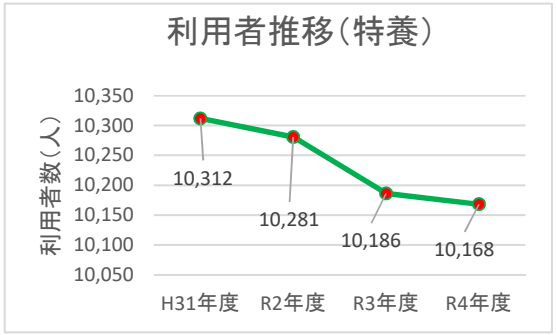
○状況

開明の杜：収入に関しては前年度とほぼ同じとなった。人件費支出が前年度比109%であり、管理栄養士、機能訓練指導員の新たな配置と技能実習生2名の受入が増額要因。事業費支出では、水道光熱費の高騰で前年度比150%となった。愛媛県の介護ロボット補助金を利用した見守りシステムやインカムの導入を行った。
短期入所：稼働率は前年度と変わりないが、要介護度の違いにより収入額で95%となった。職員配置等により人件費は97%であった。
居宅介護支援事業所：前年度と殆ど同じ推移で、安定した運営ができている。ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ：生活支援等の利用が多く、収入が見込める身体介護の件数が伸びていない状況が続いている。収入も稼働率と共に減少し、前年度比91%となった。

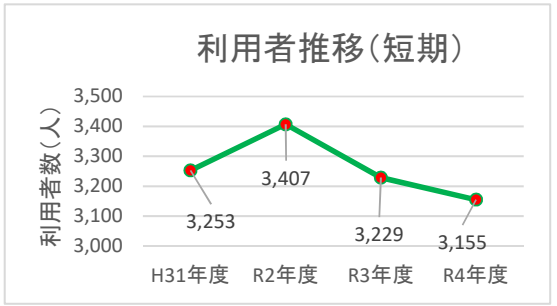
施設・設備整備積立金　：　9,000,000円

利用者推移

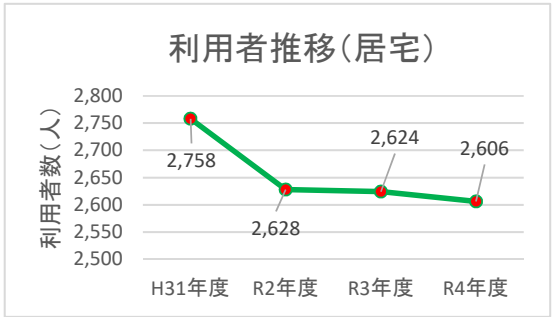
特　養	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	10,312	10,281	10,186	10,168
前年比（%）	106.1%	99.7%	99.1%	99.8%



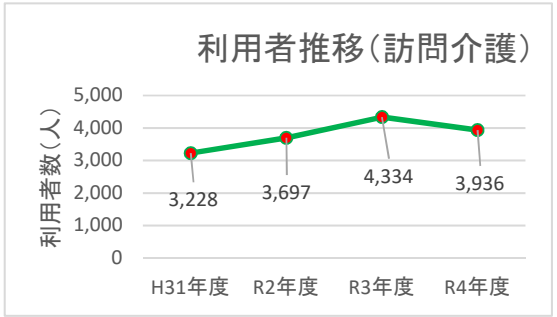
短　期	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	3,253	3,407	3,229	3,155
前年比（%）	121.8%	104.7%	94.8%	97.7%



居　宅	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	2,758	2,628	2,624	2,606
前年比（%）	102.0%	95.3%	99.8%	99.3%



訪問介護	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	3,228	3,697	4,334	3,936
前年比（%）	101.5%	114.5%	117.2%	90.8%



○状況

開明の杜：入居者の平均要介護度は4．4。入院が長期化するケースも多くなっており、退所者数も年々増加している。居室の空日数が減少するよう、スムーズな入所への準備を常に行う。管理栄養士や機能訓練指導員との協働も図り、健康管理やサービスの充実で元気に過ごせる環境つくりを継続する。短期入所：年度の前半は、コロナの影響もあり80%程度の稼働率であったが、後半は90%を超える稼働率となった。他施設に入所される方が多くなり、新規の獲得も難しくなっているが、リハビリ等のサービスで新規獲得を目指す。
居宅介護支援事業所：介護支援専門員6名が担当を持ち相談支援を行うが、コロナ禍の影響か利用控え等が目立ち、サービスに結びつかない事が多い。ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ：昨年度に比べると利用数は減少したが、市外等のサービスもあり職員はフル稼働状態となっている。そんな中でも職員の移動時間や休憩時間の確保はできた。

施設整備

・床走行式電動介護リフト（2台：リース）　・リハビリ用品（ﾄﾞｸﾀｰﾒﾄﾞﾏｰﾌﾞｰﾂｾｯﾄ）
・見守りシステム（aams.介護：8台）補助金　・インカム（ｸﾘｱﾄｰｸｶﾑ：8台）補助金
短期入所　：衣類乾燥機　1台
居宅陽だまり：ノートパソコン　1台

人材育成・研修

令和3年度に『愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業』に選定され推進してきたが、4年度は同事業の協力事業所に選定された。まだまだ浸透はしている状況にないが推進できる環境を整えていく。その他、外部研修もコロナの影響も残っておりwebでの開催が多いが、参加できる研修に関しては率先して参加したい。内部研修に関しては、職員会やOJTで進める。

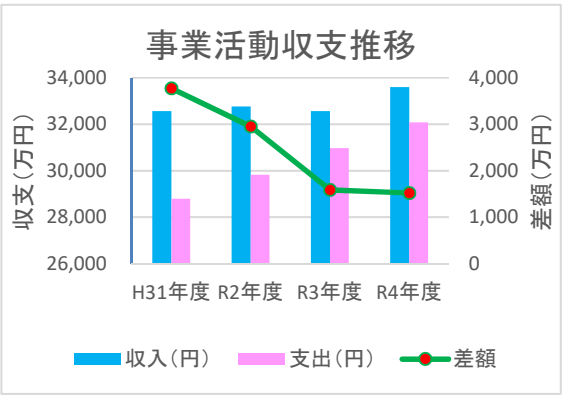
トピックス

人材育成や定着の問題があり、年度末より退職を希望する職員が現れた。日頃からの関係性は勿論、組織をクリアな状況とし問題提起しやすい環境を整えたい。介護の現場では今年度配属となった統括主任や介護リーダーがアイデアを出しやすく、技能実習生や派遣職員を含め、全職員が意見を言いやすい組織を目指す。また、介護ロボット等の導入も進め生産性向上に向けた取り組みを進める。
居宅介護支援事業所、ヘルパーステーションに関しては、コロナ対応等で突発的な判断が必要となるケースもあるが、総合的な観点からベストな判断を行う。

事業報告　：　皆楽園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	325,622,966	327,692,886	325,613,031	336,019,190
支出(円)	287,876,915	298,175,113	309,735,647	320,812,765
差額	37,746,051	29,517,773	15,877,384	15,206,425



〇状況

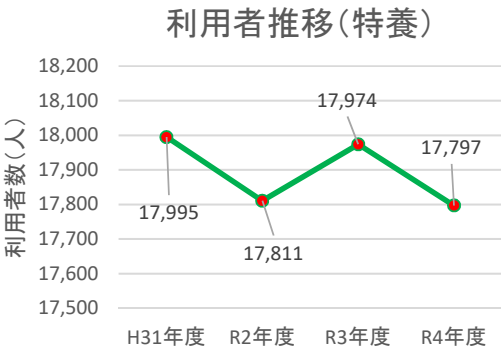
・短期は昨年度より稼働率増、人員減により大幅な黒字となった。特養は黒字ではあるが支出増となり収支差額は減、通所は人件費が大きく稼働率も思う様には伸びず大幅な赤字となった為、拠点では厳しい事業活動収支差額となった。

・収入面は特養では長期入院、通所ではコロナの影響も大きく伸びなかった。短期では、ロングショート枠を広げた事が大きく、稼働率が安定し収入増に繋がった。支出面は人件費の増額、光熱費や消耗品の高騰に加え、実習生の住環境整備や老朽化による細かな修繕や購入も相次ぎ、収支差額への影響が大きかった。

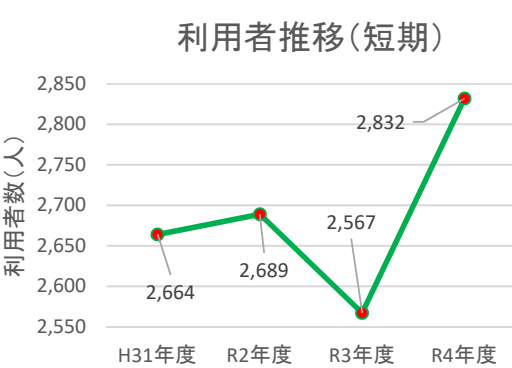
施設・設備整備積立金　：　11,000,000円

利用者推移

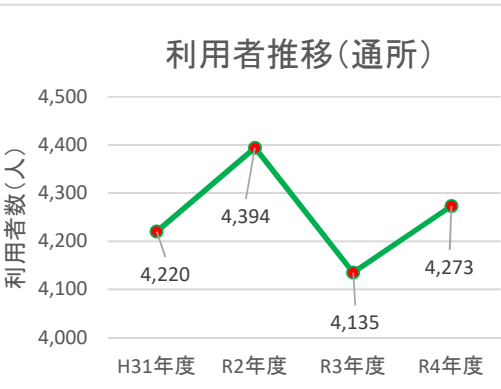
特　養	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	17,995	17,811	17,974	17,797
前年比(%)	100.0%	99.0%	100.9%	99.0%



短　期	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	2,664	2,689	2,567	2,832
前年比(%)	100.1%	100.9%	95.5%	110.3%



通　所	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	4,220	4,394	4,135	4,273
前年比(%)	116.6%	104.1%	94.1%	103.3%



〇状況

・稼働率は特養97.5%、短期77.6%、通所76.1%であった。

・特養に関しては、長期入院や退所入所の対応が少し遅れた場面もあり前年比はやや低下となった。ただ、後半は入院の空床を短期で活用するなど工夫を行った。短期はロングショートの活用により、ある程度の稼働率は確保できた。通所は、今年もコロナの影響で施設からの団体キャンセル等もあり稼働率の低下を防げなかった。事業所連携を密に取り、入院や短期入所になった場合の枠を活用するなど工夫をして稼働率に拘った対応をしていきたい。

施設整備

・ベッドキャスター交換(11台分)　　・移動式リフト
・体位変換クッション各種、クッションカバー各種(共に32個)
・移乗サポートロボット(3台、補助金活用)
・浄化槽改造作業工事
・尿汚染用洗濯機修繕
・スチームコンベクションオーブン修理

人材育成・研修

・外部研修は、今年もオンライン研修が中心であった。施設内研修は、動画視聴など行いながら職員の負担が過度にならないよう配慮しながら実施した。

・大王製紙のアテントマイスター研修は継続的に力を入れており、オムツ使用に関する認定者が増えている。その結果、オムツの無駄な使用削減でも大きな効果が出ている。

・新規技能実習生2名は、介護技能実習評価試験(初級)をともに合格、日本語検定試験N3試験にも1名が合格した。

トピックス

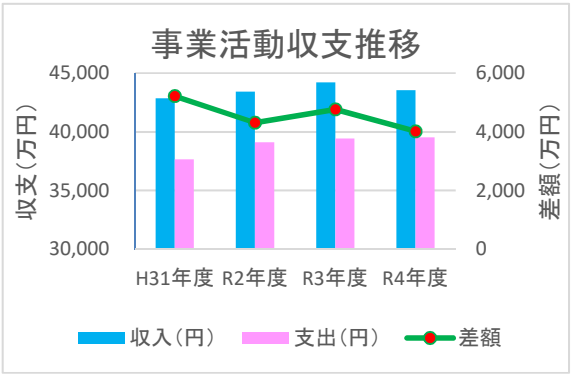
・4月末より土木事務所による施設裏の急傾斜地崩壊防止工事(防護フェンス設置工事)が始まる。何期かに分けての工事であり、4～5年程度掛かる予定。

・6月下旬から新たに2名の技能実習生が就業。蔵貫地区の借家で、4名での共同生活をしながら日々、日本語、日本文化、介護技術を学んでいる。

事業報告　：　あけはま荘

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	428,565,088	434,268,753	441,955,396	435,403,272
支出(円)	376,395,401	391,141,364	394,334,034	395,240,777
差額	52,169,687	43,127,389	47,621,362	40,162,495

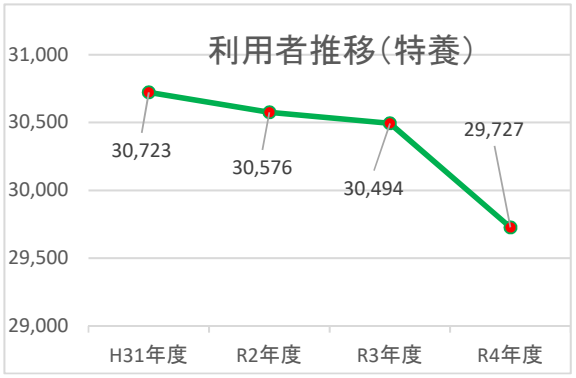


〇状況
特養は下半期当初から空床が目立ち始めた。入所対象者の減少が顕著となり新規入所に繋がらず稼働率も下がり続け延べ利用者数が平成31年度以降初めて30,000人を切った。そのような状況ではあったが新型コロナ集団感染に伴う補助金が見込まれることから収支面では前年度と同程度での推移を見せる。利用者の減少は通所事業でも見られ収入減となっている。

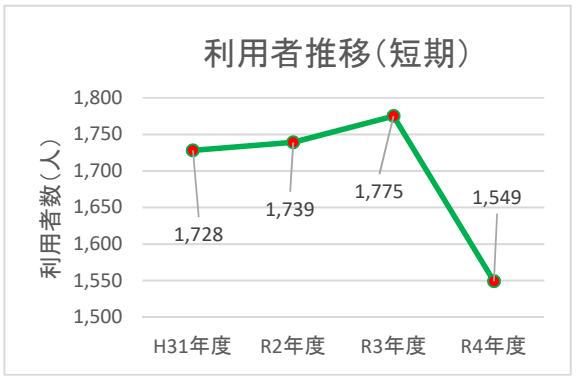
施設・設備整備積立金　：　25,000,000円

利用者推移

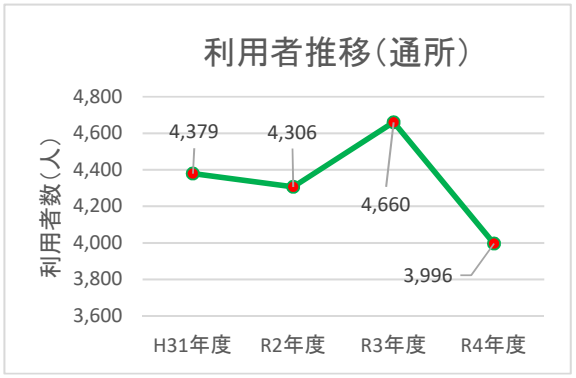
特　養	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	30,723	30,576	30,494	29,727
前年比(%)	98.9%	99.5%	99.7%	97.5%



短　期	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	1,728	1,739	1,775	1,549
前年比(%)	103.0%	100.6%	102.1%	87.3%



通　所	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	4,379	4,306	4,660	3,996
前年比(%)	99.5%	98.3%	108.2%	85.8%



〇状況
特養・短期入所・通所といずれも前年より利用者数減であった。特養の入所基準に該当する対象者数の減少も過疎地域の施設を敬遠する風潮の現れと推測している。平成31年4月には159名だった待機者数が、令和5年1月では37名。その少ない人数の中でも明浜町以外の施設入所を希望する声が一定数上がってきていることから居宅介護支援事業所などとの連携を深め地域のニーズ把握に努めたいと考えている。

施設整備

・介護用ベッド5台　・スカイリフト3台
・リフト付きシャワーキャリー
・新館給湯管修繕
・入浴用ストレッチャー

人材育成・研修

・OJTの推進
・内部職員会

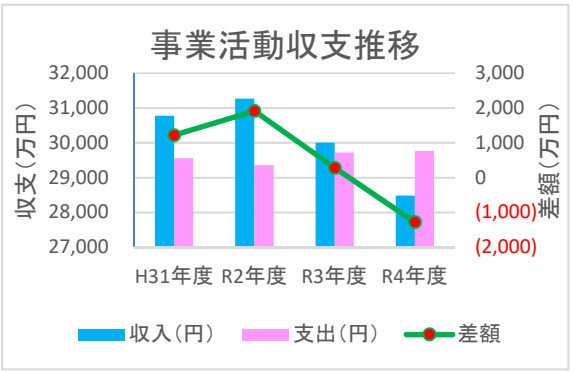
トピックス

・12月27日に利用者及び職員に新型コロナウイルス陽性者が確認され、1月27日の終息日までに合計67名の感染者を出す集団感染となる。
・安心安全な介護の実践と職員の腰痛予防リスク軽減のため展開しているノーリフティングケアを引き続き展開した。コルセット使用者ゼロ。
・褥そう対策が功を奏し褥そうゼロをみた(令和4年12月～)。

事業報告　：　宇和デイ

事業活動収支推移

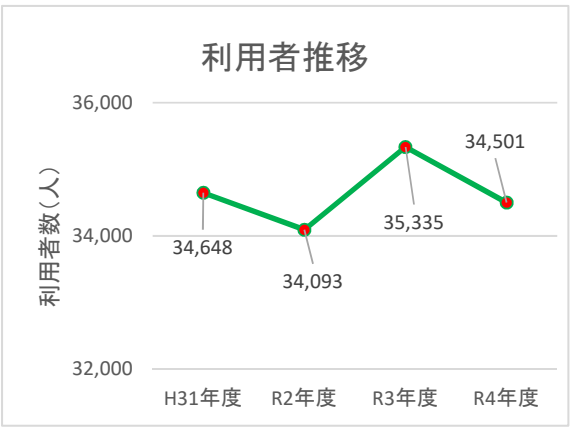
	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	307,771,398	312,686,578	299,991,149	284,787,624
支出(円)	295,567,894	293,543,142	297,185,206	297,591,075
差額	12,203,504	19,143,436	2,805,943	△ 12,803,451



〇状況
宇和デイグループの事業活動収支は厳しい状況。要因は、新型コロナウイルス、冬期大寒波の影響もあり福祉の里、ななほし中川、リハビリ歩の利用者数減。あんしんの家は利用者数は減であるが、職員配置の見直し等で収支は安定している。訪問看護は利用者数が年々伸びているが、人件費等が増え厳しい状況である。うつのみやさんの家は稼働率が安定し良い結果となった。陽よりに関しては利用者数は伸びているが、収支減の結果となる。

利用者推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	34,648	34,093	35,335	34,501
前年比(%)	96.5%	98.4%	103.6%	97.6%



〇状況
宇和デイグループの利用者数は、前年度と比較すると、福祉の里75.3%、ななほし中川通所100.3%短期101.5%、うつのみやさんの家100.1%、あんしんの家通所95.0%短期101.4%リハビリ歩通所94.3%訪問看護129.8%陽より149.7%宇和デイ全体では5.9%減となる。利用者数減の施設に関しては新型コロナウイルス感染症、大寒波、他施設への入所、入院、逝去されたことで、利用者減となった。今後も利用者獲得に向け取組んでいく。

事業所別　事業活動収支推移

※令和3年度:通所型サービスA陽より事業開始

福祉の里	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	97,206,512	114,227,967	105,114,700	85,038,169
支出(円)	85,908,004	95,577,692	98,657,374	94,379,842
差額	11,298,508	18,650,275	6,457,326	△ 9,341,673

陽より	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	ー	ー	3,401,207	5,137,091
支出(円)	ー	ー	8,284,513	8,815,007
差額	ー	ー	△ 4,883,306	△ 3,677,916

ななほし中川	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	51,196,577	49,824,631	41,669,849	41,361,645
支出(円)	41,611,518	44,584,422	42,681,720	43,015,605
差額	9,585,059	5,240,209	△ 1,011,871	△ 1,653,960

うつのみやさんの家	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	36,731,923	38,833,743	38,220,841	39,114,969
支出(円)	33,332,938	39,660,472	35,637,219	35,261,470
差額	3,398,985	△ 826,729	2,583,622	3,853,499

あんしんの家	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	47,897,528	51,440,375	48,108,374	46,581,659
支出(円)	40,998,698	46,764,265	47,499,483	43,901,735
差額	6,898,830	4,676,110	608,891	2,679,924

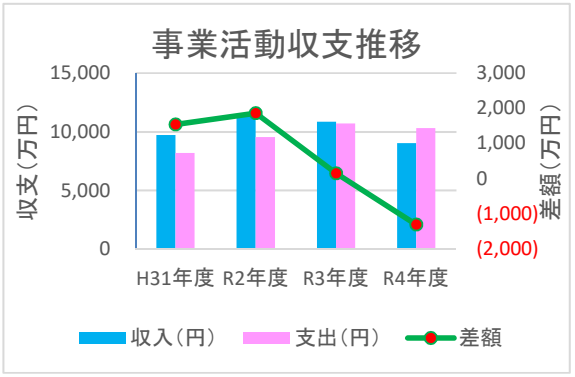
歩(通所)	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	41,822,580	39,249,734	41,515,284	38,195,048
支出(円)	50,371,377	46,188,280	42,610,707	38,145,890
差額	△ 8,548,797	△ 6,938,546	△ 1,095,423	49,158

歩(訪問看護)	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	3,770,241	19,110,128	21,960,894	29,359,043
支出(円)	6,451,668	20,768,011	21,814,190	34,071,526
差額	△ 2,681,427	△ 1,657,883	146,704	△ 4,712,483

事業報告　：　福祉の里　G

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	97,282,012	114,227,967	108,515,907	90,175,260
支出（円）	81,822,526	95,577,692	106,941,887	103,194,849
差額	15,459,486	18,650,275	1,574,020	△ 13,019,589

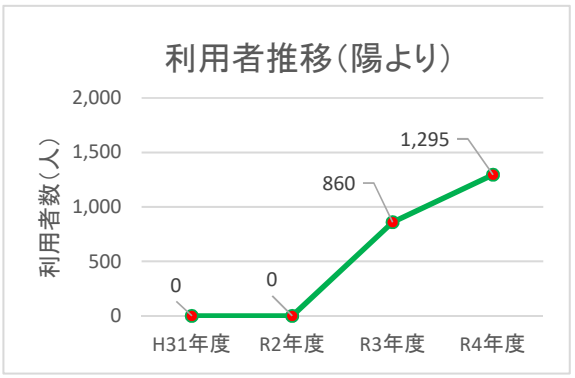


〇状況
介護度の高い利用者が入院、入所等により減少し、コロナ感染対応等もあり、利用者数が大幅に減少してしまったことで、活動収入が19%減収になってしまった。今後、新規利用者の獲得と、人件費削減及び規模区分変更により経営回復に努めたい。
陽よりにおいても利用者数が伸びず減収になる。

利用者推移

福祉の里	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	8,981	10,488	10,534	8,743
前年比（%）	149.4%	116.8%	100.4%	83.0%

陽より	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	－	－	860	1,295
前年比（%）	－	－	－	150.6%



〇状況
介護度の高い利用者を受け入れていく中で、状態低下により、入院や退所が続いてしまう。また、独居の利用者において、生活維持が困難なことから入所になることも多く、年度初め月783名あった利用者数も年度末には638名と減少してしまう。新規利用はあるものの、利用回数等が追いつかない状況であり、減収になってしまう。また、コロナによる影響も大きかった。
陽よりにおいても、新規利用者はあるものの、状態低下等により、対象外になる方も多く、利用者数は伸びていない。

施設整備

・送迎車両パワーリフト修繕
・フロア洗面台排水詰まり、排水トラップ交換修繕
・一般浴室水栓水漏れによる取り換え
・スピノ浴槽（特殊浴槽）
　（リミットスイッチ・温度表示機・排水ホース・基盤交換）

人材育成・研修

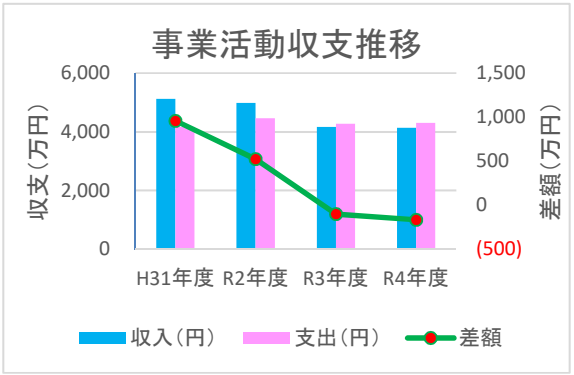
・法人内各種研修
・宇和デイグループ合同職員会
・新型コロナウイルスの影響があり中止となる事が多かった。

トピックス

事業報告　：　ななほし中川

事業活動収支推移

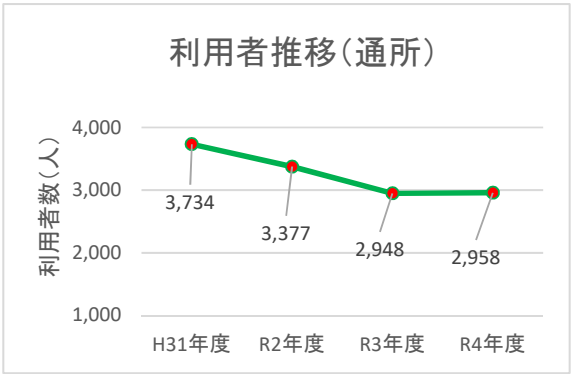
	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	51,196,577	49,824,631	41,669,849	41,361,645
支出（円）	41,611,518	44,584,422	42,681,720	43,015,605
差額	9,585,059	5,240,209	△ 1,011,871	△ 1,653,960



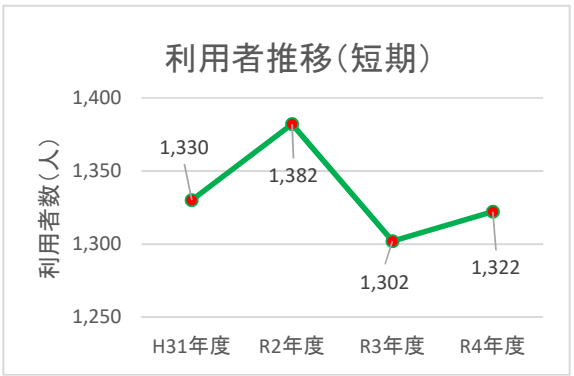
〇状況
前年度と比較すると微々たるものであるが、利用者は増えてはいるが、介護度が高い利用者が多く、施設に入所となる為収入増加にはならなかった。支出においては、特に大きな修理や購入した物は無く、前年度よりパート職員1名減で対応したが、電気代や物価の高騰などもあり、十分に支出を抑えることが難しかった。

利用者推移

通　所	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	3,734	3,377	2,948	2,958
前年比（%）	98.4%	90.4%	87.3%	100.3%



短　期	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	1,330	1,382	1,302	1,322
前年比（%）	104.8%	103.9%	94.2%	101.5%



〇状況
令和3年度に大幅に利用者減となり、令和4年度もしばらくその流れが続いていたが、秋頃にかけては新規利用者が増えていた。しかし年末頃より施設に入所される方が続き、その後は大幅に利用者数減となった。3月末には認知症デイかえでが閉設されることで、新規の相談も多くなり対応していたが、施設入所や入院により現状維持となる。

施設整備

特になし

人材育成・研修

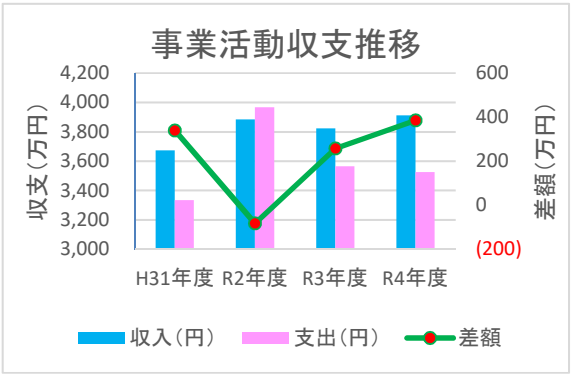
・法人内各種研修
・宇和デイグループ合同職員会
（新型コロナウイルスの影響で中止となる事が多かった）

トピックス

事業報告　：　うつのみやさんの家

事業活動収支推移

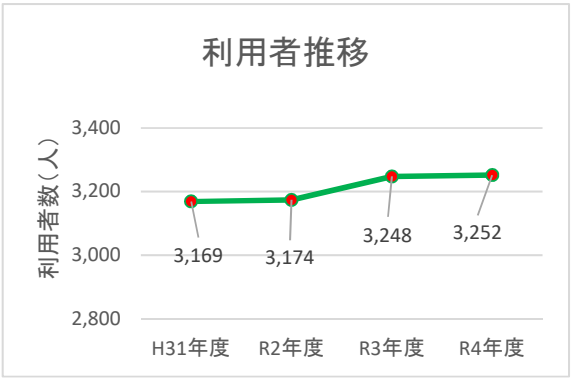
	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	36,731,923	38,833,743	38,220,841	39,114,969
支出（円）	33,332,938	39,660,472	35,637,219	35,261,470
差額	3,398,985	△ 826,729	2,583,622	3,853,499



〇状況
昨年度より職員人数減の為、土曜日・日曜日を2人体制にするなど大幅な業務改善を行たものの、認知症対応型としてのサービスの提供の質が落ちることはなくサービス提供出来ているのではないかと思う。職員配置等、見直しを行ったことで収支差額が安定している。

利用者推移

G　H	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	3,169	3,174	3,248	3,252
前年比（%）	97.1%	100.2%	102.3%	100.1%



〇状況
体調面は安定している利用者が多く、利用率は安定していたが、3月になり入院やご逝去、特養への入所など、人数が減少する事があった。入所の打診を行っても他施設に入所されたり、断られたりする事もあった。申し込み件数も減ってきている事から事業所へのアプローチもしていく必要がある。

施設整備

・衣類乾燥機
・食器乾燥機

人材育成・研修

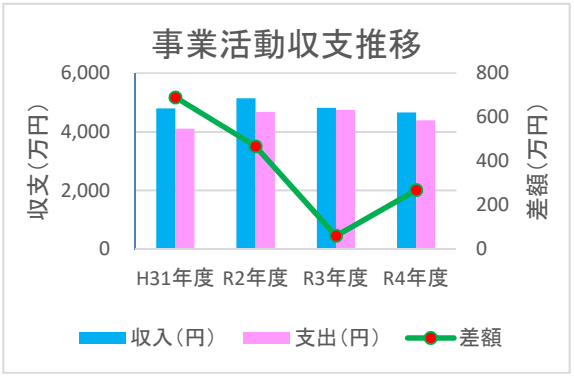
・法人内各種研修
・宇和デイグループ合同職員会
　（新型コロナウイルスの影響で中止となる事が多かった。）

トピックス

事業報告　：　あんしんの家

事業活動収支推移

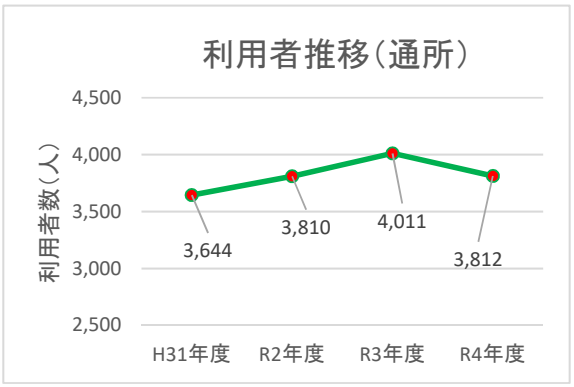
	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	47,897,528	51,440,375	48,108,374	46,581,659
支出(円)	40,998,698	46,764,265	47,499,483	43,901,735
差額	6,898,830	4,676,110	608,891	2,679,924



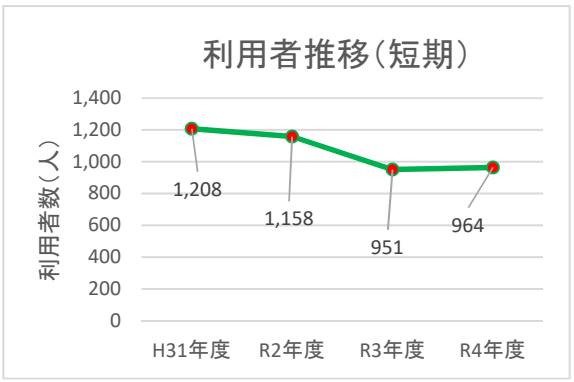
〇状況
利用者数は多少減り収入減となったが、職員数を最低配置基準ギリギリでの事業運営により収支差額はプラスになっている。現在風呂場の水圧が弱く工事の検討、送迎車の買い替えも必要な時期に差し掛かっている。全職員で協力して新規利用者の獲得を積極的に行ない、今年度は令和4年度以上の営業成績を残したい。

利用者推移

通　所	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	3,644	3,810	4,011	3,812
前年比(%)	95.7%	104.6%	105.3%	95.0%



短　期	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	1,208	1,158	951	964
前年比(%)	108.0%	95.9%	82.1%	101.4%



〇状況
令和4年度はコロナ感染による休業が2日間あったが、そのことを除くと利用者数としては安定していた。1月以降、ご逝去されたり、看取り状態となり入院されたりが相次ぎ、3月現在では登録者数も減少している状態である。元々利用者の平均年齢が高いこともあり今後もこのような状況が続くことが懸念される。臨時利用の受け入れ新規利用者の獲得を積極的に行うことで利用者数の安定に努めていきたい。

施設整備

特になし

人材育成・研修

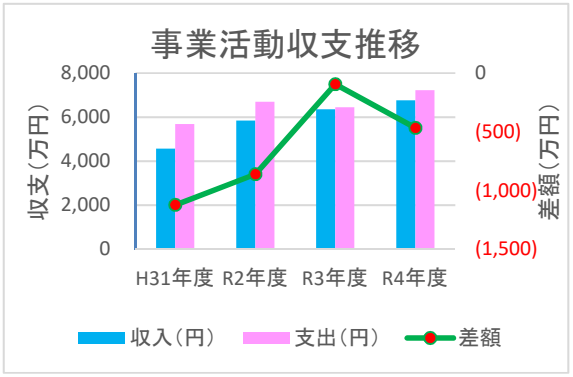
・法人内各種研修
・宇和デイグループ合同職員会
・新型コロナウイルスの影響があり中止となる事が多かった。

トピックス

事業報告　：　歩

事業活動収支推移

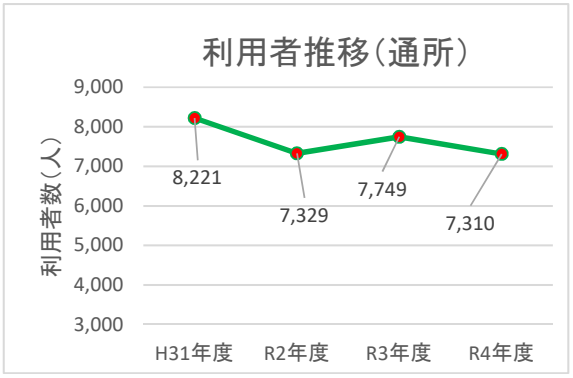
	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	45,592,821	58,359,862	63,476,178	67,554,091
支出（円）	56,823,045	66,956,291	64,424,897	72,217,416
差額	△ 11,230,224	△ 8,596,429	△ 948,719	△ 4,663,325



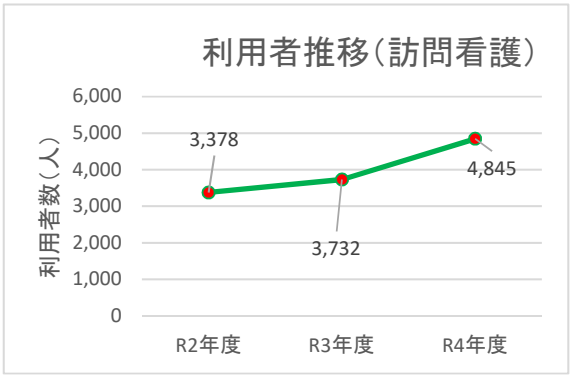
〇状況
前年度比、収入106%、支出112%となり収入増となったが、それ以上に支出が大きかった。これは松葉診療所休診に伴う職員の異動で訪問看護の人的補強を行ったことが要因。訪看の稼働率は向上しているが、看護の件数がまだ少なく、伸び悩んでいる。今年度管理者が変更となったが、居宅への働きかけや業務の見直しを行う事で新規契約に繋げていきたい。

利用者推移

通　所	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	8,221	7,329	7,749	7,310
前年比（%）	146.0%	89.1%	105.7%	94.3%



訪問看護	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	594	3,378	3,732	4,845
前年比（%）	ー	568.7%	110.5%	129.8%



〇状況
通所に関して、前年度比94.5%となった。原因はR4.12～R5.2にかけてのコロナ第8波の影響で、職員・利用者ともに罹患者が複数名出たことによる。それに伴い利用控えが多発した。また、大寒波により、送迎不可能となった事が多数あった。訪看は新規利用獲得への活動が徐々に効果が出てきているのではないかと考えられる。

施設整備

特になし

人材育成・研修

法人内研修であっても日中職員外出が困難となっており、内容について精査し可能な範囲で参加している。施設内研修会は徐々に戻りつつあるが、必要最低限の開催としている。外部講師の研修会は、感染予防の観点から予定はしていない。

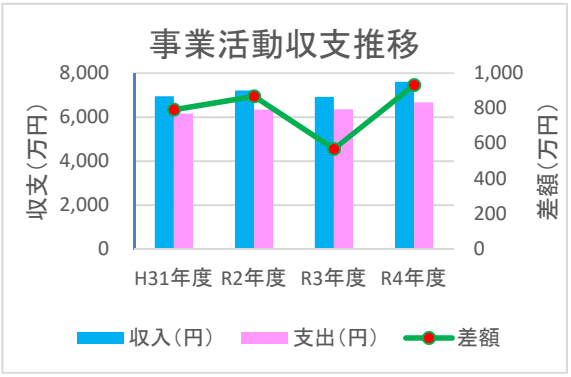
トピックス

通所はコロナ罹患者が度々あり、利用控えが相次いだことによる稼働低下が一番の要因と考える。更なる感染予防を継続することで、事業継続を円滑に行えるように環境を整えていく。
訪看は管理者の変更があった。件数増しているが、死亡等により中止となる件数も一定数あるため、新規を継続して受け入れる必要がある。居宅などへ働きかけを行いつつ、新体制での問題点等を抽出し、処理する。

事業報告　：　ケアハウスれんげ

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	69,480,952	72,064,278	69,230,946	76,044,625
支出(円)	61,556,821	63,386,384	63,532,910	66,719,857
差額	7,924,131	8,677,894	5,698,036	9,324,768

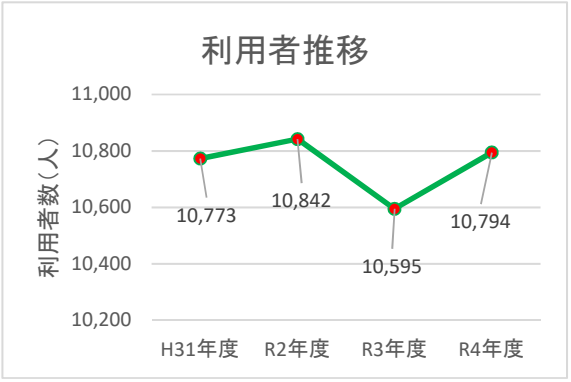


〇状況
・原因：入院の日数が大幅に減少したことにより、稼働率が98.6%と前年度(96.5%)を上回ることになった。
・動向：コロナ感染症によって収支に影響することはなかった。電気代、燃料代をはじめ物価高騰による影響はあったが、稼働率が上回ったため安定的な収支を維持することができた。
・積立金等：車両の更新は補助金を活用、大規模改修はほぼ実施していない。収支の状況により500万円を施設・設備整備積立資産に積み立てる。

施設・設備整備積立預金　5,000,000円

利用者推移

軽　費	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	10,773	10,842	10,595	10,794
前年比(%)	102.5%	100.6%	97.7%	101.9%



〇状況
・原因：年間の入院延日数が85日と前年度(332日)と比較し、4分の1程度に減少したことが稼働率の上昇につながった。ただ、ご逝去による退去が5名(前年度2名)あり、入居までの空室が71日間(前年度22日間)と1件当たりの平均空室期間が長くなっている。
・ニーズ等：待機者として、前年度から変わらず約100名の登録がある。

施設整備

・ダイハツアトレー、車いす対応スロープ式軽車両(公益財団法人JKA補助)
・居室エアコン更新2台
・サイクルポート屋根修理(損保ジャパン、災害補償)

人材育成・研修

・虐待防止に関する研修
・愛媛県老人福祉施設大会にて「認知症ケアの実践」を発表
・喀痰吸引実地研修1名終了
・アテント(おむつ)マイスター1名終了

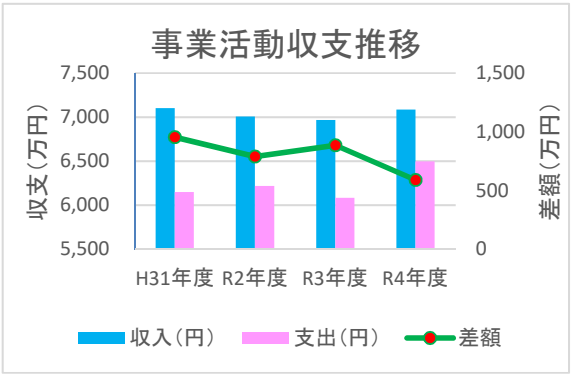
トピックス

・ご逝去による退去が5名であった。過去2年間で2名であったので今年度は特に多かった。これにより、比較的お元気な入居者に入れ替わることとなり、サービス提供のあり方に工夫が必要となる。

事業報告　：　ケアハウスはまゆう

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	71,025,376	70,073,307	69,680,282	70,851,417
支出（円）	61,476,961	62,179,617	60,822,949	64,956,701
差額	9,548,415	7,893,690	8,857,333	5,894,716

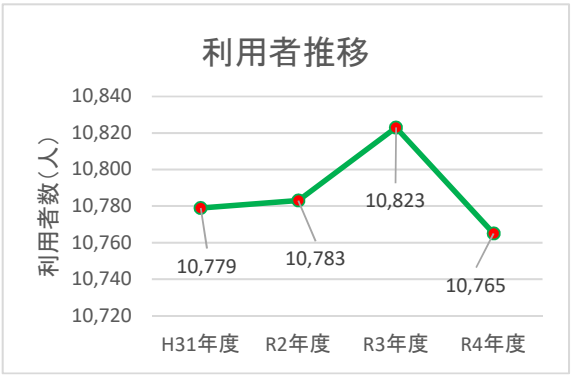


〇状況
コロナ禍での運営となったが感染者は1名に留まり収入面への影響は限定的であった。令和4年度も安定した稼働率で推移し例年同様の収入をあげているが、収支差額面では人事異動に伴う人件費が増加し収支を圧迫する形となっていた。その対応として専門員のみの夜勤業務を検討。令和5年度より新たな夜勤体制が確保でき介護職員を1名削減の見込みが立ったため収支改善が期待される。

施設・設備整備積立金　：　3,000,000円

利用者推移

軽　費	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	10,779	10,783	10,823	10,765
前年比（%）	106.2%	100.0%	100.4%	99.5%



〇状況
年間の入退居者が9名と例年と比べ多数に上ったが、いずれのケースもスムーズな流れで新規契約に繋がり稼働率への影響は最小限でとどめることができた。全体的な入院日数が増加傾向にあることが気がかりである。

施設整備

・浴場循環ポンプ取替工事
・避難誘導灯取替工事
・スプリンクラー設備修繕

人材育成・研修

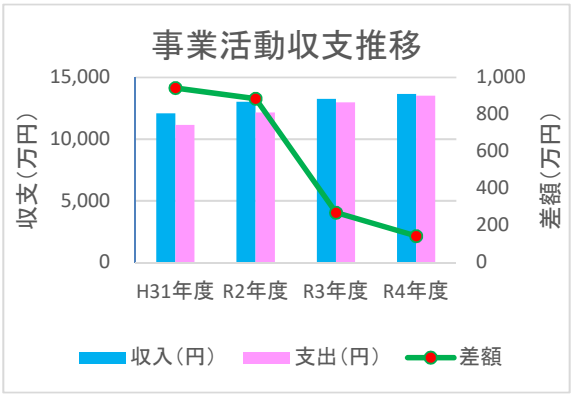
・OJTの推進
・内部職員会

トピックス

事業報告　：　三楽園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	120,759,139	130,253,682	132,391,983	136,481,943
支出(円)	111,332,525	121,405,961	129,701,555	135,048,166
差額	9,426,614	8,847,721	2,690,428	1,433,777



〇状況
・収入:前年度比較3．1%増は、利用者年間延べ人員が前年度に比べ、190人多く確保できたことによる増収である。
・支出:前年度比較4．1%増は、人件費及び施設老朽化による修繕費の増額によるものである。
・結果、収支比較で1．0%の減により、前年度と比較し、差額△1,256,651円と前年度比較52%の減となった。

利用者推移

養　護	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	17,314	16,949	17,139	17,239
前年比(%)	100.2%	97.9%	101.1%	100.6%

〇状況
・年間平均利用者数は、47.23名で前年度と比較し増となった。また、年間延べ人員も前年度と比較し100名多く確保し、稼働率は95%となった。
・年間入院者数では、ADL、QOLの低下からゼロにすることは難しく、令和4年度も40名の入院者数となった。
・年間退所者数も前年度と比較し2倍であり、加齢と共に養護での生活を維持することが困難な利用者が増えてきている。

施設整備

・給湯配管バイパス工事　1,012,000円
(浴室給湯配管老朽化に伴う漏水のため)
・三楽園新築に伴う設計費として設計管理費　23,870,000円
　二木生小学校解体工事　5,566,000万円
　地質調査費　2,255,000円
・9人乗りワゴン車廃車　(エンジン故障による修理不可能)

人材育成・研修

・コロナ禍で、満足のいく職員研修会の実施が困難な中で、感染症実践研修会やオンライン研修会を開催し、できる限り職員の質の向上に繋げるように努めた。

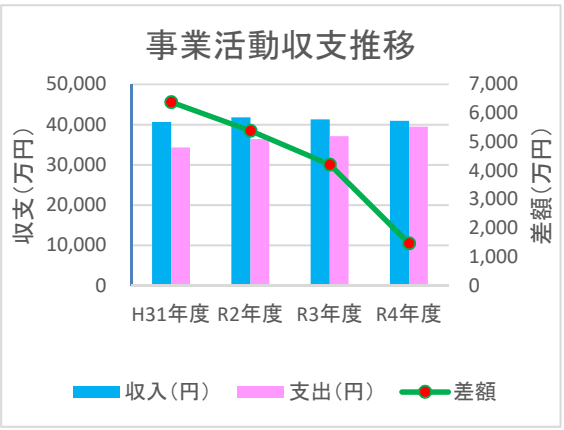
トピックス

昨年同様コロナ禍で、地域との交流会が自粛や中止となり施設としての地域貢献を行うことがなかなかできない状況であった。しかし、コロナ感染者数が減少傾向にある中で、長い間自粛していた外出、外食行事を計画実施することで、新たな生活様式で普通の暮らしを取り戻し、利用者の喜びにつながるように努めている。

事業報告　：　松葉学園

事業活動収支推移

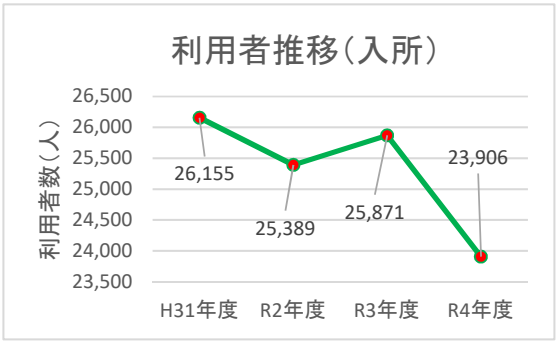
	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	406,585,652	417,691,012	412,984,346	409,443,689
支出（円）	342,759,545	363,770,853	370,865,532	394,771,341
差額	63,826,107	53,920,159	42,118,814	14,672,348



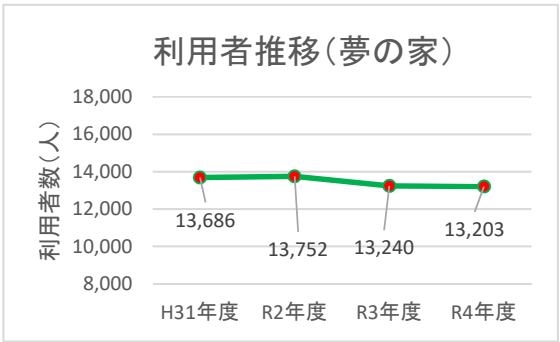
〇状況
松葉学園は、施設入所支援において、重度支援体制加算をとるよう職員配置を整え取り組み、加算収入は一部増加した。しかし、長期入院や利用者の異動・死亡、コロナによる通所閉所、短期入所受入れ制限があり、全体的に収入が減少した。ぽのぽのは、児童発達支援利用者の増加を目指していたが、コロナによる閉所日もあり、計画通りいかず、いっとき館は、加算減少により、収入が減少した。人件費等で支出も増え、収支差額が大幅に減少した。

利用者推移

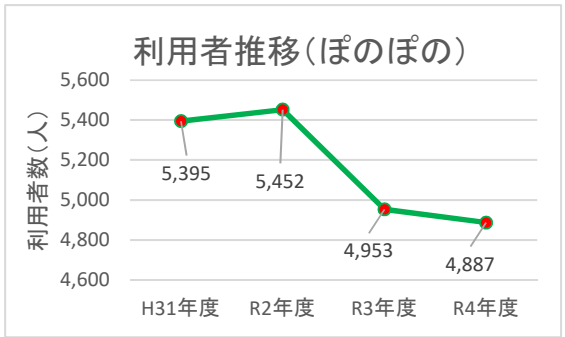
入　所	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	26,155	25,389	25,871	23,906
前年比（%）	108.1%	97.1%	101.9%	92.4%



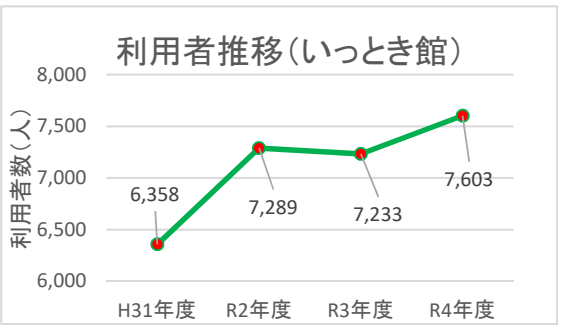
夢の家	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	13,686	13,752	13,240	13,203
前年比（%）	103.3%	100.5%	96.3%	99.7%



ぽのぽの	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	5,395	5,452	4,953	4,887
前年比（%）	111.4%	101.1%	90.8%	98.7%



いっとき館	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	6,358	7,289	7,233	7,603
前年比（%）	98.0%	114.6%	99.2%	105.1%



〇状況
松葉学園は、コロナによる通所利用者の受け入れ制限や閉所があり、利用者数が大きく減少した。3月には、新規に施設入所1名、通所1名、夢の家利用者1名が利用を開始した。夢の家は、一人暮らしを目指す利用者がいる一方で、新規に利用したいという要望もあり、受入れ体制を整えたい。コロナで停滞していた活動や利用者の生活を少しずつ復活、発展させ、どの事業所も利用者のエンパワーメントを高め、生き生きと過ごしていただけるように取り組んでいく。

施設整備

松葉学園
・厨房給湯器買い替え　・厨房エアコン取付　・片開き門扉修理
・公用車（ハイエース10人乗り）リース　・自動カンナ
・男性ユニット脱衣室エアコン

人材育成・研修

・全国規模の研修については、オンラインで参加
・OJTフェスティバル　・新人新任職員研修
・サポーター業務報告会　・虐待防止研修　・BCP等訓練

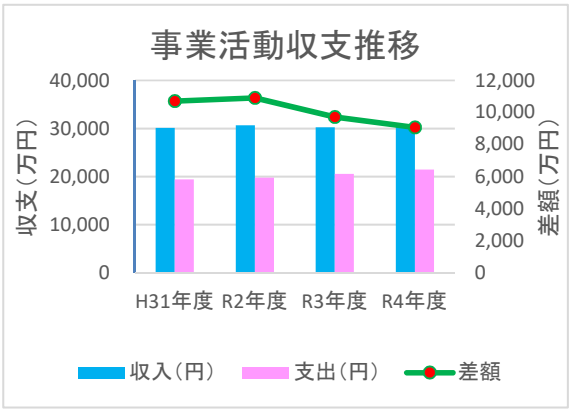
トピックス

・令和5年1月初め、施設入所コロナ感染のため、レッドゾーン対応等にあたった。利用者11名、職員8名の感染があったが、重症化もなく、2週間程度と比較的短い期間で終息し、大きな感染拡大にはならなかった。

事業報告　：　希望の森

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	300,869,359	306,514,382	302,483,622	305,081,632
支出(円)	193,796,539	197,424,549	205,343,225	214,422,824
差額	107,072,820	109,089,833	97,140,397	90,658,808

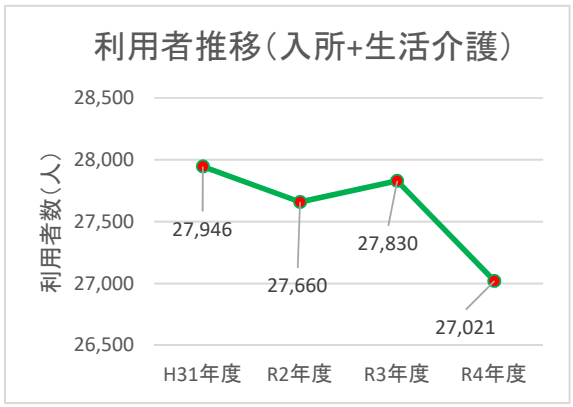


〇状況
コロナの影響や、利用者のご逝去に伴い、自立支援給付費収入は大幅に減少している。コロナについては、その影響を補う為に補助金の申請を行い、結果、事業活動収入を全体で見ると、前年度を若干上回る結果となった。事業活動支出については、電気・ガス・燃料の高騰の影響が大きい。また、施設の老朽化に伴う修繕費及び、コロナ対応時の時間外勤務手当等の人件費の増加も顕著であった。相談支援について、計画作成費収入は前年をやや上回る規模であったが、支出では、相談支援専門員を1名増員した為、事業活動支出増に影響を及ぼしている。

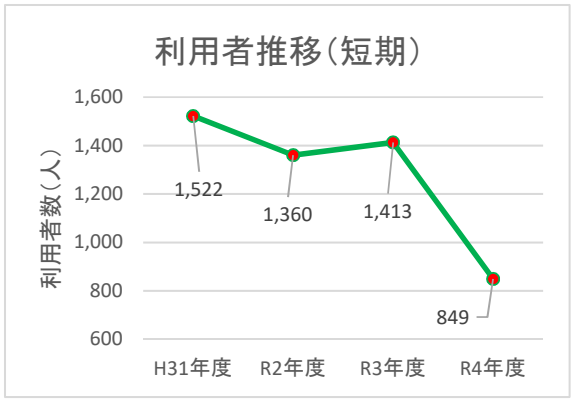
施設・整備整理積立金　：　47,000,000円

利用者推移

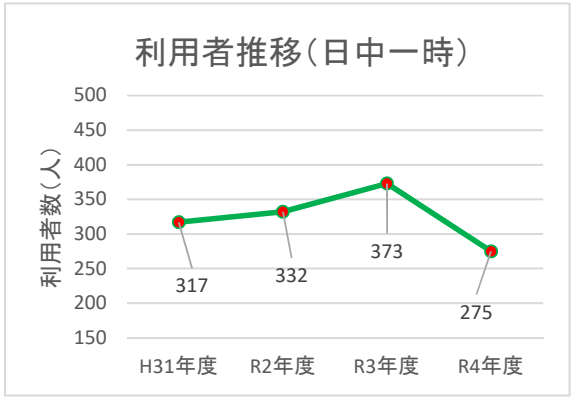
入　所+生活介護	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	27,946	27,660	27,830	27,021
前年比(%)	100.9%	99.0%	100.6%	97.1%



短　期	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	1,522	1,360	1,413	849
前年比(%)	107.0%	89.4%	103.9%	60.1%



日中一時	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	317	332	373	275
前年比(%)	182.2%	104.7%	112.3%	73.7%



〇状況
各サービスの稼働状況については軒並み減となっている。特に短期入所については、ロングショートの利用者2名が施設入所及び死去されたことの影響が大きい。今年度に入って新規の契約者が増えてきているので、今後稼働状況が回復していくと思われる。

施設整備

・GH横ビニールハウス張替え
・シロアリ駆除工事
・車イス用体重計

人材育成・研修

・「利用者一人ひとりの力を高める支援」研修会
・「福祉の職場」チームリーダー研修会
・強度行動障がい支援者養成研修(基礎・実践)
・相談支援従事者専門コース別研修

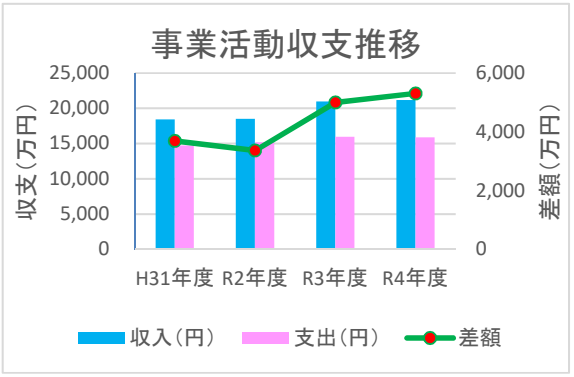
トピックス

令和4年9月上旬から10月上旬にかけて施設内にて、新型コロナ大規模クラスターが発生し、利用者・職員52名が感染した。それに伴う施設内療養協力金、サービス継続支援事業等の補助金の申請を行い給付を受ける。それ以降は世間の感染状況を見ながら、利用者の外出支援、帰宅、家族の面会等、徐々に制限を緩和してきている。

事業報告　：　ひまわりの家

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	184,170,063	185,160,127	209,556,593	211,666,842
支出（円）	147,248,776	151,541,126	159,578,231	158,547,655
差額	36,921,287	33,619,001	49,978,362	53,119,187

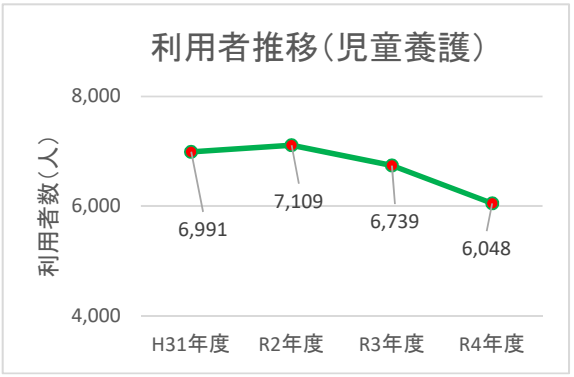


〇状況
事業活動の収支差額であるが、児童養護は措置児童の実人員減少と養護心理士の配置加算が取得できなかった等の理由により、前年度に比べては減収となった。一方児童心理は、前年度比で事業活動収支差額の大幅増となった。ひまわりの家として、養護と心理の収支差額合計では開設以来最高の収支となり、安定した経営状態を継続できている。

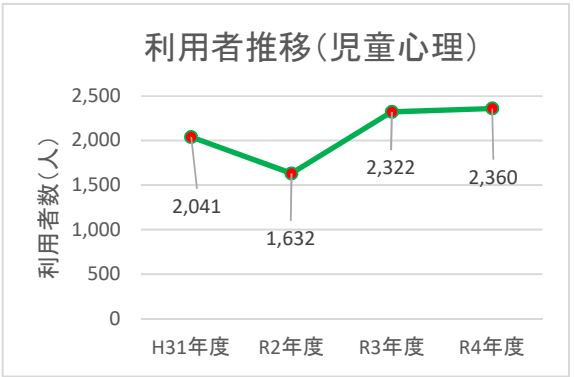
施設・設備整備積立金　：　33,000,000円

利用者推移

児童養護	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	6,991	7,109	6,739	6,048
前年比（%）	88.7%	101.7%	94.8%	89.7%



児童心理	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	2,041	1,632	2,322	2,360
前年比（%）	92.5%	80.0%	142.3%	101.6%



〇状況
　養護は定員20名に対し4月現員16名のスタートから、退所は10月に家庭復帰1名、年度末にも高校進学を機に家庭復帰1名。入所は年度末3月に定期的にショートステイで受け入れていた児童が家庭での養育困難から3月下旬に措置入所。心理治療施設より、次年度から1名措置変更予定で次年度も16名スタートの予定。児童心理は定員10名に対し、7名のスタート。1名の新規入所と計3名の措置変更による退所があり、次年度は5名のスタート予定。施策としての里親委託推進により、措置児童の打診は減少。

施設整備

・ストックハウス1棟（寄贈）　・空気清浄機2台　・ノートパソコン2台

人材育成・研修

外部委員として南児相職員が委員に加わり、今年度から虐待防止委員会を新設。年間を通して、児童への関わりが虐待につながらない支援について学んだ。

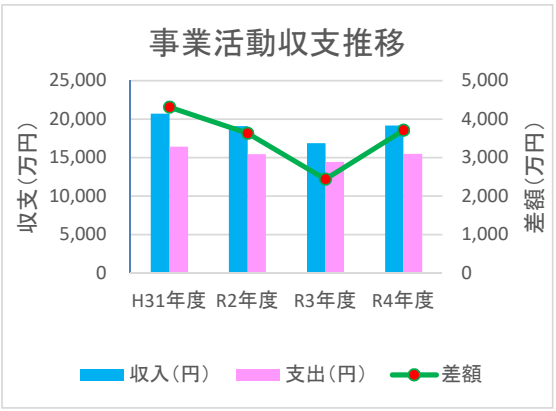
トピックス

・男性保育士が9か月間と男性児童指導員が1か月間と計2名が育児休暇を取得した。この間勤務人数の減となったが、該当職員の育休取得に職場として協力できた。
・12月5日～12月26日の間、児童4名と職員3名が新型コロナ感染。感染防止対策により、感染者数を最小限に抑え込めた。

事業報告　：　うわまち未来こども園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	207,084,192	190,832,091	168,673,752	191,835,771
支出（円）	163,996,312	154,470,701	144,278,857	154,730,739
差額	43,087,880	36,361,390	24,394,895	37,105,032

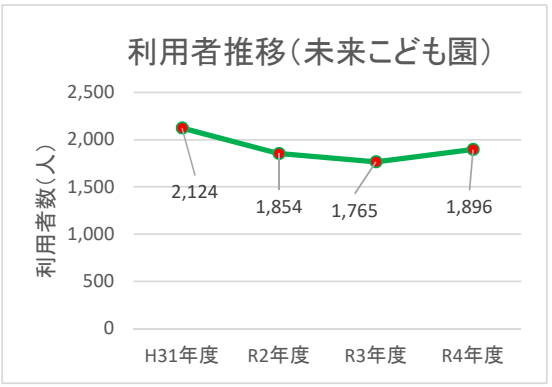


〇状況
・認可定員を165名に変更。令和4年度151名でスタートし、途中入園や保育士の雇用も重なり、160名となった。また、未満児を多く受け入れることが出来たので、安定した経営となった。

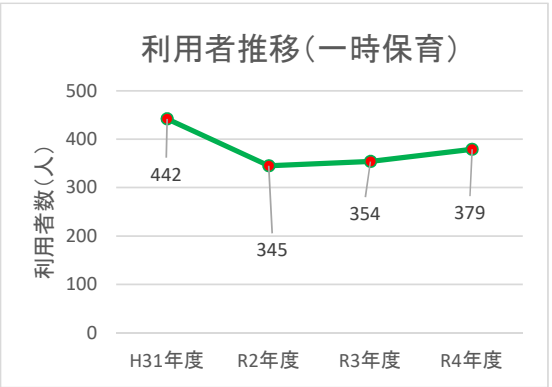
施設・設備整備積立金　：　20,000,000円

利用者推移

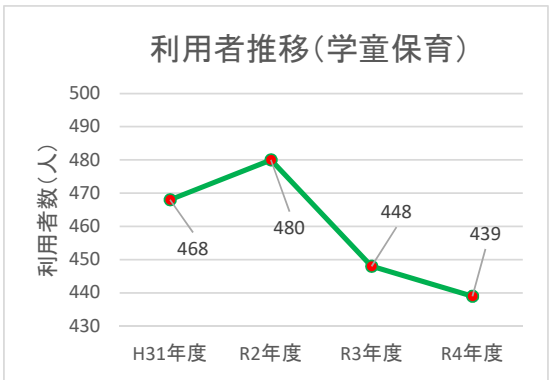
こども園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	2,124	1,854	1,765	1,896
前年比（%）	94.0%	87.3%	95.2%	107.4%



一時保育	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	442	345	354	379
前年比（%）	272.8%	78.1%	102.6%	107.1%



学童保育	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	468	480	448	439
前年比（%）	101.1%	102.6%	93.3%	98.0%



〇状況
・保育士を雇用したことで、途中入園希望者を受け入れることができた。
・一時保育は、年間通して希望者があり、受け入れたこともあり利用者増につながった。
・学童保育は、家庭の都合で途中退所児があり、利用者が減ったが待機児童もいない状態である。

施設整備

・エアドッグX5S　・オゾン発生器エアークロバー
・殺菌スリッパ保管庫　・ロングライトバスG

人材育成・研修

・OJT新人・新任研修（自然遊び・グループワーク）
・西予市保育協議会研修会（ことばと保育　外）
・保育士キャリアアップ研修（乳児保育・幼児保育・障がい児保育　外）
・愛媛県教育・保育施設初級職員研修会
・愛媛県保育事業研修大会　・絵画、創作部会　・園内研修

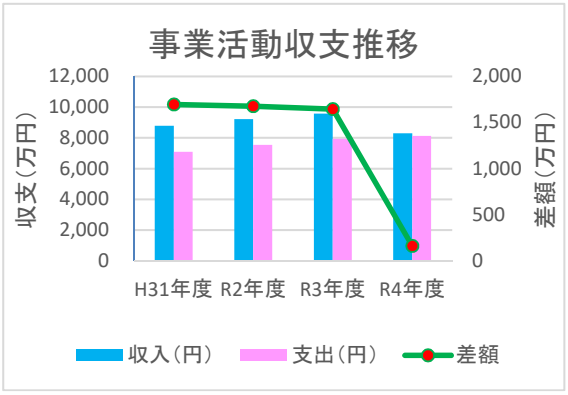
トピックス

・令和4年度もコロナ禍の中、考え、工夫して様々な経験が出来た。
・市の木育事業では、全クラス対象で、木の温かみを感じながら遊び、ジオミュージアムを拠点としての遠足では、西予市の様々なジオに出かけ自然を感じながら遊んだ。コロナ禍で制限のある中だったが、すべての行事を工夫し、協力をいただきながら実施することが出来た。
・様々な事情で離職する職員はいたが、新規に雇用したり、保育サポーターの雇用をした。保育の仕事の大切さや素晴らしさを感じてもらいながら、引き続き働きやすい環境つくりにも努めたい。

事業報告　：　中川保育園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	87,793,279	92,138,017	95,781,009	82,868,131
支出(円)	70,848,427	75,360,296	79,332,415	81,262,077
差額	16,944,852	16,777,721	16,448,594	1,606,054

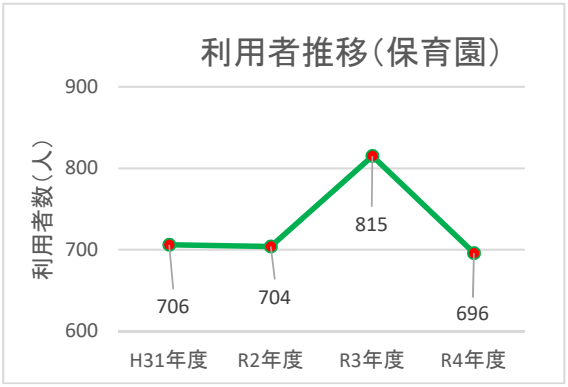


〇状況
・保育園は今年度、定員を60名に変更したが、定員以上の入所にはならなかった。
・学童保育は、小学校敷地内に新築し定員を40名に増員した。1年生の利用者も多かった。

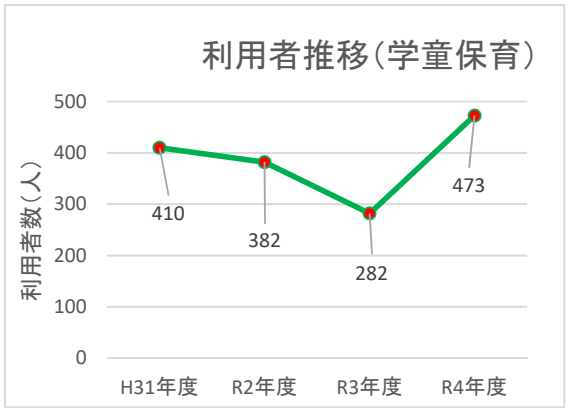
施設・設備整備積立預金　：　8,500,000円

利用者推移

保育園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	706	704	815	696
前年比(%)	82.7%	99.7%	115.8%	85.4%



学童保育	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	410	382	282	473
前年比(%)	108.8%	93.2%	73.8%	167.7%



〇状況
・保育園は4月当初から定員を超える事はなく、途中入園の受け入れも出来なかった。
・学童保育は、小学校敷地内に新設し利用しやすい環境となり増員に繋がった。

施設整備

保育園
・掃除機・館内WIFI機器、WIFI AP設置、LAN配線工事・エアドック(コロナ補助金)・園庭の木々剪定・屋外壁面LED照明取り付け工事・トイレ換気扇修理
学童
・8人乗り公用車・駐車場通路コンクリート床版工事・小型収納庫・車内置き去り防止システム
・壁付扇風機、電源新設工事・エアドック(コロナ補助金)

人材育成 ・ 研修

・キャリアアップ研修(コロナ対策として録画配信)・経営青年会研修会
・新人.新任職員研修会　・OJT研修　・各部会研修(絵画・創作)
・西予市保育協議会研修会　・南予地区人権同和教育研修会
・園内研修(毎月)　・リモート研修　・愛媛県保育協議会事例研修会

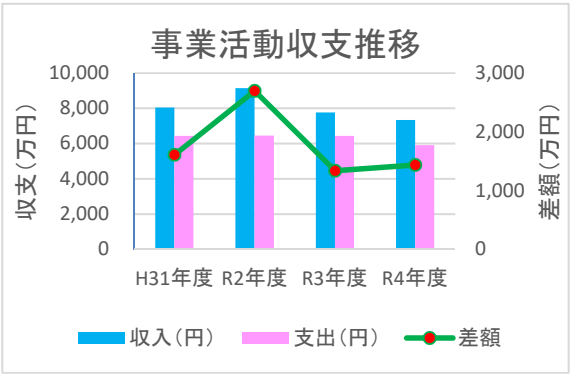
トピックス

・中川保育園は、周囲を自然に囲まれており、地域とのつながりのある保育園だが、今年度も新型コロナウイルスの影響で、地域やお年寄りとの交流が出来なかった。保育園の行事は、感染防止対策を行い、保護者の協力のもと様々な工夫をし出来る範囲内で実施することが出来た。
・保育理念の「生きる力を培う」の基、園外保育や食育事業など自然の中での体験を多く取り入れ、また、異年齢や様々な人との関わりを通して、優しさや思いやりの気持ちが育っている。
・学童保育では、中川小敷地内に新設して頂き、良い環境の中で、子どもも職員伸び伸びと落ち着いて過ごせた。今年度もコロナウイルスの影響で、お年寄りとの交流もなく残念だったが、出来る範囲内での行事は検討しながら、色々工夫をして子どもたちが楽しめる取り組みを行った。

事業報告　：　田之筋保育園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	80,324,635	91,382,285	77,688,132	73,372,457
支出（円）	64,232,664	64,398,259	64,330,542	59,025,233
差額	16,091,971	26,984,026	13,357,590	14,347,224

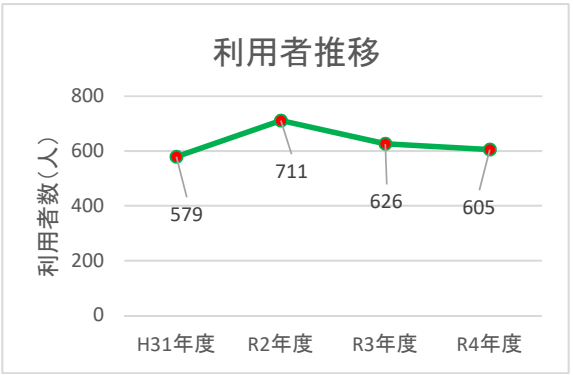


〇状況
令和3年度と比較するとやや減収となってはいるが、安定して定員確保できていることで収益も安定している。

施設・設備整備積立金　：　15,000,000円

利用者推移

保育園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	579	711	626	605
前年比（%）	103.2%	122.8%	88.0%	96.6%



〇状況
50名の定員に対して、47名でスタートしたが、直ぐに50名に達し、最大52名、最終51名の園児数となるなど、安定して定員数を満たすことが出来た。

施設整備

・土管トンネルサイド土留
・屋根防水シート修繕及び塗装
・園庭ログハウスの塗り替え
・園庭排水修繕
・トイレ水洗修繕
・保育システム、iPad、iPod導入。
・感染防止備品（玩具除菌box、マスク、ゴム手袋、空気清浄機等）
※西予市補助金

人材育成・研修

・保育士等キャリアアップ研修会
・法人主催研修会(OJT、各委員会)
・部会研修（絵画、創作）
・西予市保育協議会研修会
・園内研修

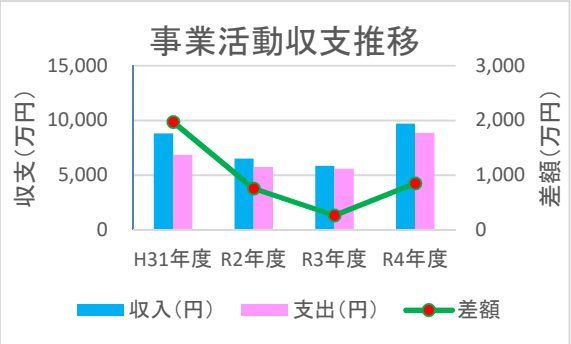
トピックス

・コロナの影響により、園内行事を延期することはあったが、内容を一部変更したり、縮小したりすることで中止することなく実施出来た。園児数も安定的に定員を満たすことが出来ていた。

事業報告　：　下宇和保育園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	88,116,920	64,893,108	58,500,023	97,037,673
支出(円)	68,393,807	57,347,544	55,860,619	88,551,606
差額	19,723,113	7,545,564	2,639,404	8,486,067



〇状況

・下宇和:エアコン等の購入により支出が増えている。定員40名を超える利用はなかったが、未満児の受け入れが多く収入増となった。
・明間:常に定員割れの状況が続き収入は減少。今年度より下宇和保育園分園となり、人件費光熱水費等の支出が減ったことにより支出は抑えられた。
・明下田クラブ:田之筋地区の放課後子ども教室を利用する児童がおり利用定員は増えず収入減となった。令和4年度田之筋小新1年生の入会は0名であった。

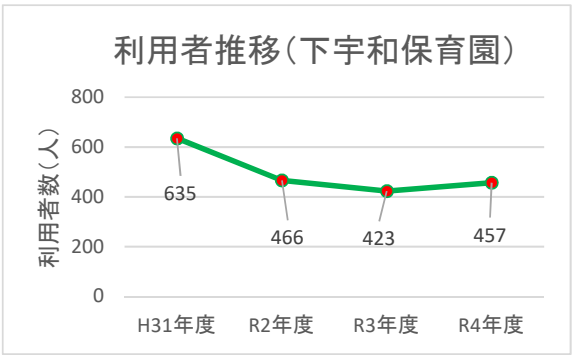
施設・設備整備積立金　：　3,000,000円

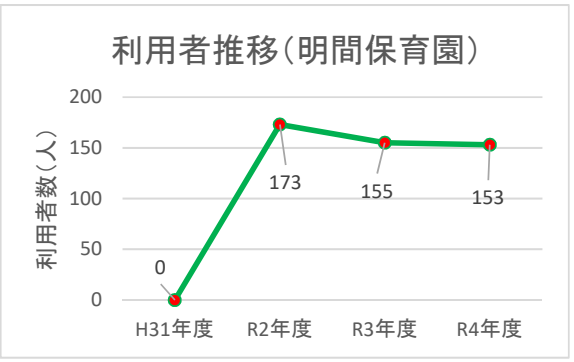
利用者推移

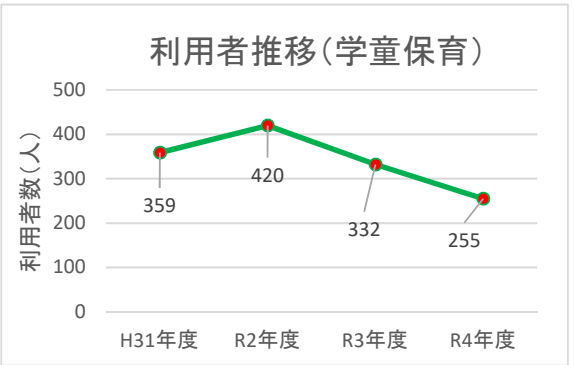
下宇和保育園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	635	466	423	457
前年比(%)	128.8%	73.4%	90.8%	108.0%

明間保育園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	−	173	155	153
前年比(%)	−	−	89.6%	98.7%

学童保育	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	359	420	332	255
前年比(%)	118.5%	117.0%	79.0%	76.8%







〇状況

・下宇和:定員40名に対し年度当初は38名。途中入退園もあり年度末には38名であった。
・明間:定員20名に対し年度当初は12名。途中入園もあり14名の時期もあったが年度末には12名であった。明間地区10名6世帯、地区外2名2世帯。今年度地区内の出生は1名で、3月に入所するが、次年度は在籍園児の内6名3世帯が下宇和保育園に転園。幼稚園に1名転園し、6名3世帯での令和5年度がスタートする。
・明下田:定員40名に対し年度当初23名(皆田小15名・田之筋小8名)であったが、途中退会者もあり、年度末19名(皆田小14名・田之筋小5名)であった。

施設整備

下宇和保育園
・エアコン取替　・登降園用門扉設置　・土管土山改修　・CO2高感度密度計購入
・給食室冷凍冷蔵庫購入　・食器消毒保管庫購入　・保育室網戸設置
・空気清浄機、加湿器購入　・ルクミーシステム導入　・無線AP設置　・LAN工事
・コロナ補助金(衛生用品・抗原検査キット購入・保育室他天井扇風機取替)
明間保育園
・公用車8人乗り中古ワゴン配備　・乳児室湯沸かし器取替　・シュレッダー購入
・剪定　・夏タイヤ新品交換　・ルクミーシステム導入・空気清浄機、加湿器購入
・コロナ補助金(衛生用品・抗原検査キット・消毒用ミストガン購入)
明下田クラブ
・補助金関係(ルンバ・エアドッグ購入・車内置き去り防止システム設置)
・冷蔵庫購入　・公用車修繕　・室内換気扇・蛍光灯清掃

人材育成・研修

・西予市保育協議会研修・保育士等キャリアアップ研修
・部会研修(創作・絵画)・法人主催研修(OJT・各部会)
・ハラスメント研修・園内研修

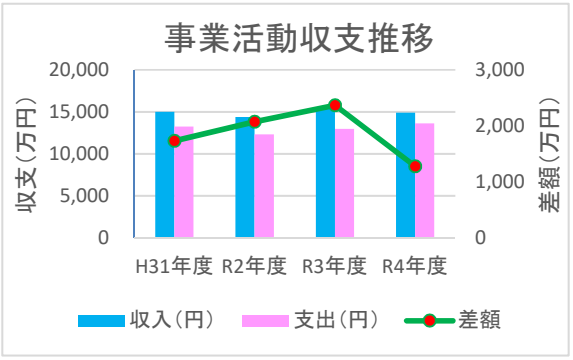
トピックス

・コロナ対応を行いながらの園生活、行事等の開催となった。取り組み方の工夫や時期の変更などを行い予定している行事は行えた。園児の道路への飛び出し防止の為、登降園用門扉を保育園と学校のプール通路側フェンスに新設した。
・下宇和公民館から保育園間の道路の、劣化による雨天時の車両通行時の水撥ねがひどく、昨年度、地区より改善の要望を西予土木事務所に上げてもらっていた件について、今年度アスファルト舗装の対応をしてもらっている。
・明間保育園は令和4年度より、保育所存続のため、下宇和保育園分園としてスタート。給食は下宇和で調理し配達。下宇和調理員が配膳に出向。施設長は兼務。分園に主任保育士の配置する。各行事を下宇和との合同で開催した。山の広場整備については、下宇和保育園保護者にも声をかけ協力をいただいている。

事業報告　：　宇和保育園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	149,728,497	143,590,964	153,313,304	148,817,982
支出(円)	132,443,586	122,894,657	129,644,067	136,068,671
差額	17,284,911	20,696,307	23,669,237	12,749,311



〇状況
定員を超えての利用があった。未満児の希望があり、保育士不足の影響で断らなければならない状況もあった。

施設・設備整備積立金　：　8,000,000円

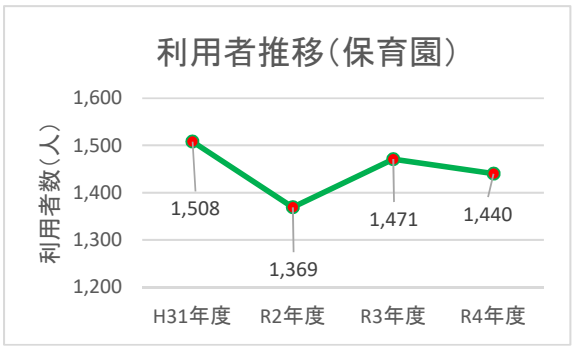
利用者推移

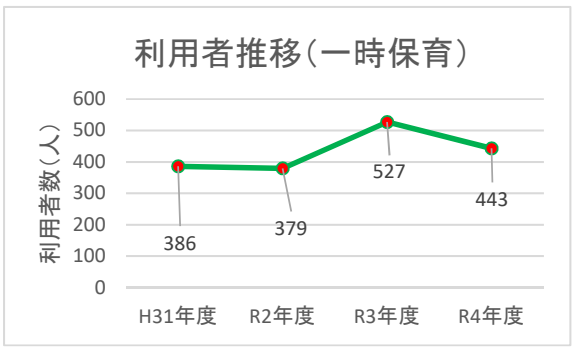
保育園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	1,508	1,369	1,471	1,440
前年比(%)	103.8%	90.8%	107.5%	97.9%

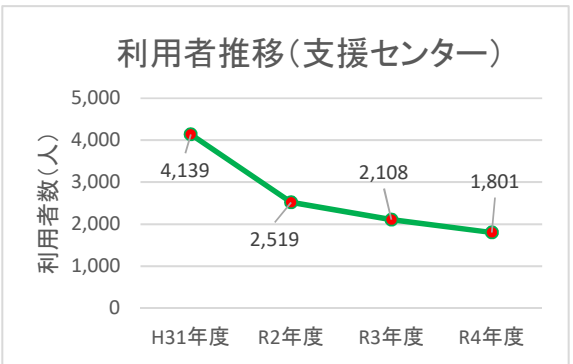
一時保育	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	386	379	527	443
前年比(%)	55.0%	98.2%	139.1%	84.1%

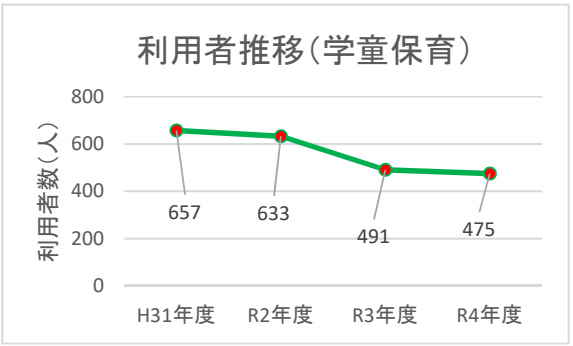
支援センター	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	4,139	2,519	2,108	1,801
前年比(%)	90.6%	60.9%	83.7%	85.4%

学童保育	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	657	633	491	475
前年比(%)	96.1%	96.3%	77.6%	96.7%









施設整備

・職員トイレ改修工事　・AirdogX5s
・ロングスライドバス　・館内無線AP設置・LAN配線工事

人材育成・研修

・キャリアアップ研修
・OJT研修(新人・新任研修)
・園内研修

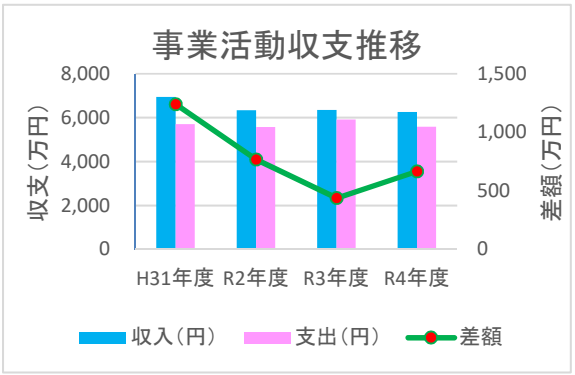
トピックス

コロナ禍での園生活や各行事も新しいやり方を検討し、ほぼ実施できており、落ち着いてきているように思う。
保育サポーター等を活用し、保育士が不足しているところを補いながら職員の負担軽減に努めた。離職率は0であった。

事業報告　：　石城保育園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	69,412,741	63,379,959	63,503,749	62,524,294
支出（円）	57,001,920	55,693,522	59,123,986	55,865,281
差額	12,410,821	7,686,437	4,379,763	6,659,013

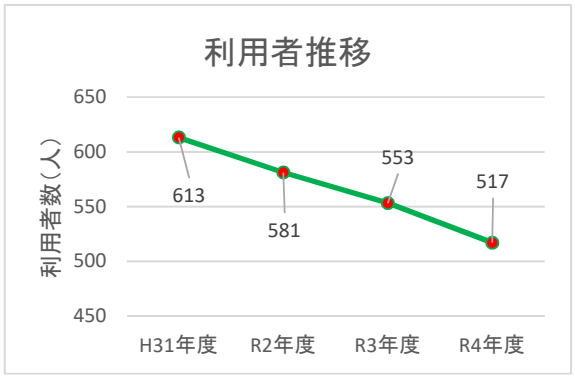


〇状況
・定員を10名減の40名にしたが、年間通して定員を超える利用者があった。
・前年度、施設・設備老朽化に伴い修繕等で支出が増えていたが、今年度は支出は抑えられた。

施設・設備整備積立預金　：　5,000,000円

利用者推移

保育園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	613	581	553	517
前年比（%）	102.9%	94.8%	95.2%	93.5%



〇状況
・地域の少子化に伴い、定員を10名減の40名とした。
・新年度40名でスタートし、8名の途中入園、7名の途中退園があり、年度末には41名となった。途中入園児は、8名とも石城地域以外の利用者だった。

施設整備

・りす組エアコン・テーブル　・テーブル収納ワゴン　・乳児室畳張替え
・以上児保育室カーテン　・避難車（4人乗りベビーカー）
・砂場日除け　・砂場、複合遊具修繕　・ブランコ吊り金具　・門扉
・シャワー水栓・洗濯機　・剪定　・給食室トイレ配水管布設替え

人材育成・研修

・キャリアアップ研修　・OJT研修　・絵画部会　・創作部会
・西予市保育協議会研修会　・南予地区人権同和教育研究協議会
・療育支援研修会　・社会福祉法人セミナー　・全国保育研究大会
・愛媛県教育保育施設長研修会　・愛媛県保育協議会事例発表会
・愛媛県保育事業研修大会

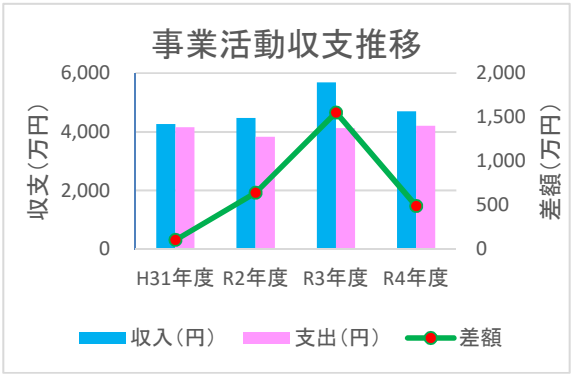
トピックス

・第三者評価を受審した。職員一人ひとりが共通の目標や視点をもって、園全体の保育や組織、体制などについて振り返る良い機会となった。今後、子どもが主体的に活動できる環境の整備、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開し、地域との連携も含め石城保育園としての特性を展開させ、子ども、保護者、そして地域の方々から愛され選ばれる保育園、必要とされるオンリーワンの保育園を目指していきたいと思う。
・マンモス田や笠置古墳などに出かけ、自然の中での体験を多く取り入れ、豊かな心やたくましい身体が育っている。

事業報告　：　多田保育園

事業活動収支推移

	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入(円)	42,622,981	44,718,631	56,782,363	46,916,077
支出(円)	41,564,814	38,283,804	41,246,616	42,017,448
差額	1,058,167	6,434,827	15,535,747	4,898,629

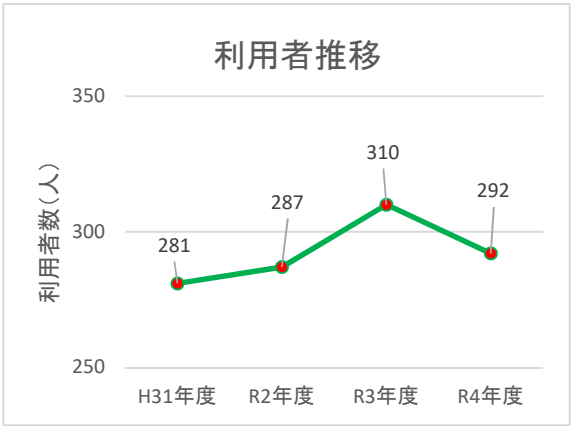


〇状況
・定員を20名から30名に変更したため、公定価格単価減により、前年度より収入減となった。

施設・設備整備積立金　：　5,000,000円

利用者推移

保育園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者(人)	281	287	310	292
前年比(%)	88.4%	102.1%	108.0%	94.2%



〇状況
・25名でスタートし、7月末に広域入所児の退園があり24名となった。その後1月末に2名の退園、2月より2名の入園があったが、園児数は変動なく24名であった。地域外からの利用者は4名であった。

施設整備

・土管トンネルサイド土留工事　・無線AP設置、LAN配線工事
・園庭ヒイラギの木伐採　・未満児保育室畳表替え　・掃除機購入

人材育成・研修

・キャリアアップ研修(eラーニング)　・全国保育研究大会
・愛媛県保育事業研修大会　・愛媛県保育協議会事例発表会
・経営青年会研修会　・南予地区人権同和教育研究協議会
・西予市保育協議会研修会　・法人主催研修(OJT・部会研修等)
・園内研修(自己評価・人権擁護セルフチェック・リスクについて等)
・愛媛難聴児を共に育む会(リモート)

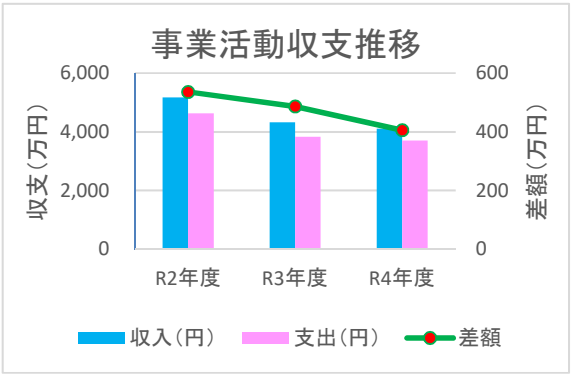
トピックス

・コロナ禍が続く中、行事等の縮小など制限を余儀なくされることもあったが、感染症予防に努めながら、内容を工夫し、行事や活動を行った。保育理念である『様々な体験や友だち地域の人々との関わりの中で生きる力の基礎を培う』を念頭に置き、多田地区の豊かな自然の中へ出かけ、様々な体験を行うことができた。

事業報告　：　高山保育園

事業活動収支推移

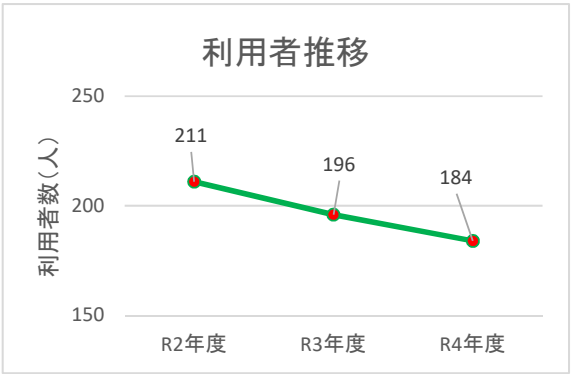
	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入（円）	ー	51,673,421	43,181,003	41,093,572
支出（円）	ー	46,312,843	38,315,427	37,039,074
差額	ー	5,360,578	4,865,576	4,054,498



〇状況
新園舎での保育も定着している。修繕費等多額な支出は無い。西予市からの補助金がない場合には資金収支マイナスとなる。今後を見通した新しい事業等の検討を必要としている。

利用者推移

保育園	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者（人）	ー	211	196	184
前年比（%）	ー	ー	92.9%	93.9%



〇状況
4月当初、12名の園児でスタートした。昨年度、少ない人数の中でも途中入退園があり、年間トータル186名、月平均15．3名であった。移住者や俵津保育所等に入園できない園児の受け皿として園児数を確保できている状況である。世帯数で見ると、8世帯中4世帯が高山地区であり、約半分は地区外からの入所となっている。高山地区の出生児が少なく今後も増える状況にない。

施設整備

・iRoboto ルンバ＆ブラーバジェット
・なかよしルーム（ホール）簡易ステージ購入

人材育成・研修

・キャリアアップ研修(幼児保育)　・OJT 委員会
・園内研修（ハラスメント、感染症、AEDリスク、保育研修等）
・絵画部会　・創作部会

トピックス

新園舎での保育に、園児や保護者も慣れていただき、職員も落ち着いた気持ちの良い環境で過ごせている。園舎横の体育館利用や園外保育も積極的に行っている。また、夏に「よいとこな広場」が完成し、地域の方がゲートボールなどに使用されている場所へも出向いている。途中入園の希望がある為、受け入れていき定員に近づく入所に期待したい。